



Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G ガイド for Cisco Unified Communications Manager 4.3/5.1/6.0 and Later

(ライセンスおよび保証規定を含む)

【注意】この文書はお客様の便宜のために作成された参考和訳であり、お客様とシスコシステムズとの間の契約を構成するものではありません。正式な契約条件は、弊社担当者、または弊社販売パートナーにご確認ください。

電話機の一般的なタスク

コールを保留および復帰する	保留 または 復帰 を押します。
別の番号にコールを転送する	オプション > 転送 を選択し、転送先の電話番号を入力してから、 オプション > 転送 をもう一度選択します。
リダイヤルする	 を 2 回押すか、 オプション > リダイヤル を選択します。
標準の会議コールを開催する	オプション > 会議 を選択します。番号をダイヤルしてから、 オプション > 会議 をもう一度選択します。上の手順を各通話者に繰り返します。
内線を転送する	オプション > 不在 を選択します。すべてのコールを転送する相手の番号を入力します。キャンセルするには、 オプション > 不在 を選択します。
履歴を使用する	ディレクトリ (本) > 不在履歴 、 着信履歴 、または 発信履歴 を選択します。ダイヤルするには、リストをスクロールし、 ダイヤル または  を押します。
デスクの電話機と無線電話機間で共有回線のコールを切り替える	アクティブ コールに接続している電話機から、 保留 を押します。別の電話機から、共有回線のコールを選択し、 復帰 を押してコールを取得します。



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-15163-01-J



クイック リファレンス



Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G ガイド for Cisco Unified Communications Manager 4.3/5.1/6.0 and Later

電話機の使用
ショートカット キー およびボタン
ソフトキーの定義
テキストの入力
電話スクリーンのアイコン
電話機の一般的なタスク

電話機の使用

電話機の電源をオンにする	電話機の電源がオンになるまで、  を押し続けます。
電話をかける	番号をダイヤルしてから、  を押します (ダイヤル トーンはありません)。
コールに応答する	 、 応答 または  ボタンを押します。
切断する	 または 終了 を押します。
電話の機能にアクセスする	機能リストを表示するには、 オプション を押します。 <ul style="list-style-type: none"> 機能の番号キーを押すか、 その機能にスクロールして、 を押します。
メインのメニュー オプションにアクセスする	ナビゲーションの矢印を押して、次のものを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ディレクトリ メニュー (本) 回線表示 (電話) 設定 メニュー (工具) サービス メニュー (地球) メニュー オプションの番号キーを押します。
電話機の電源をオフにする	電話機の電源がオフになるまで、  を押し続けます。

ショートカット キー およびボタン

キーボードをロック / ロック解除する	 (# キー) を押し続けます。ロック解除するには、任意のキーと [はい] を押します。
呼出音とバイブレーションを切り替える	 (* キー) を押し続けます。呼出音を有効にするには、  を押します。
ボイス メッセージにアクセスする	 (1 キー) を押し続けます。
呼出音の音量を調整する ハンドセットまたはスピーカの音量を調節する	 上または下を押します。通話中に上または下を押します。
電話機をミュートにする	 を押します。ミュートを解除するには、ボタンを再び押します。
スピーカを有効にする	 を押し続けます。ハンドセットを使用するには、ボタンをもう一度押し続けます。

ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
割込み	共有回線のコールに参加する
折返し	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
D 転送	2つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオンまたはオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
G ピック	他のグループで鳴っているコールに応答する
ハント	ハントグループにログインまたはログアウトする
即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	すでに1つの回線上にある複数のコールをまとめて、1つの会議コールを作成する
迷惑呼	不審なコールを記録する
ミーティング	ミーティング会議コールを開催する
メッセージ	ボイスメールにアクセスする
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
電話帳	電話帳を開く
ピック	自分のグループで鳴っているコールに応答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
削除	会議の参加者を削除する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
転送	コールを転送する

テキストの入力

文字：キーを1回または複数回押し、小文字または大文字を入力します。

スペース：を押します。

数字：数字キーを押します。

記号：次のキーを押します。

を押すと、*+/-/=/:;を入力できます。

を押すと、スペース、‘|_~’を入力できます。

を押すと、#?() [] {}を入力できます。

を押すと、!@ <> \$ % ^ &を入力できます。

電話スクリーンのアイコン

回線とコールのステータス

	着信コール
	コールの保留
	接続コール
	オフフック
	使用中の共有回線
	コール転送が有効
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のビジブ回線 (BLF)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のアイドル回線 (BLF)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト (BLF ステータス不明)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向オーディオのインターコム回線
	双方向オーディオのインターコム回線

回線機能

	電話回線
	サービス URL
	ボイス メッセージ

その他の機能

	ミュートをオンにする
	ヘッドセットを有効にする
	スピーカ モードを有効にする
	呼出音をオフにする (サイレント モード)
	呼出音とバイブレーションをオンにする
	バイブレーションだけをオンにする
	アプリケーションをアクティブにする
	無線信号のステータス
	無線信号なし
	バッテリーの充電ステータス
	デスクトップチャージャーに接続
	呼出音をオフ (サイレント モード) にして、デスクトップチャージャーに接続
	キーボードのロック
	連絡用の業務電話番号
	連絡用の自宅電話番号
	連絡用の携帯電話番号
	連絡用のその他の電話番号

Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- その他の情報の入手先 2
- 安全と性能に関する情報 3
- シスコ製品のセキュリティの概要 8
- アクセシビリティ機能 8
- Notices 9
 - OpenSSL/Open SSL Project 9
 - License Issues 9

電話機の接続 12

- 電話機のバッテリーの取り付けと取り外し 13
- 電話機のバッテリーの充電 14
 - AC 電源装置を使用するバッテリーの充電 14
 - USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電 16
- 電話機の電源オン 18
- ユーザ名とパスワードの設定 19
 - テキストの入力と編集 20
- Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のアクセサリ 21
 - ヘッドセットについて 21
 - ロック セットとケーブル ロックを使用する電話機の固定 22

電話機の概要 24

- ボタンとハードウェアについて 25

電話スクリーンの機能について	29
機能ボタンとメニューについて	31
電話機のヘルプ システムの使用	32
電話機のボタンの使用	33
回線とコールの違いについて	34
回線とコールのアイコンについて	34
機能の Availability について	36
電話機のクリーニング	36

基本的なコール処理 37

コールの発信：基本オプション	37
コールの発信：追加のオプション	39
コールへの応答	42
コールの終了	44
コールの保留と復帰	44
ミュートの使用	46
複数のコール間での切り替え	46
進行中のコールの他の電話機への切り替え	47
コールの転送	48
すべてのコールの別の電話番号への転送	50
サイレントの使用	51
会議コールの使用方法	52
会議コールのタイプについて	52
標準の会議の開催と参加	53
ミーティング会議コールの開催または参加	55
インターコム コール発信と着信	56

コール処理の応用 58

短縮ダイヤル	58
--------	----

短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用	60
自分の電話機で他の電話機の着信に応答	61
パークされているコールの保存と取得	62
ハントグループからのログアウト	63
共有回線の使用	64
共有回線について	64
共有回線のコールへの参加	65
他者による共有回線のコールの表示および参加の防止	66
BLFの使用による回線状態の確認	67
セキュアなコールの送受信	68
不審なコールのトレース	69
重要なコールの優先順位付け	69
Cisco エクステンション モビリティの使用	71
1つの電話番号を使用したビジネスコールの管理	72
Push to Talk サービスの使用	74
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	75
ヘッドセットの購入	77
自動応答の使用	77
電話機の設定の変更	78
呼び出しのカスタマイズ	78
音量設定のカスタマイズ	80
電話スクリーンのカスタマイズ	82
キーパッド設定の変更	84
任意のキーを使用して電話機に応答する	84
キーパッドの自動ロック設定	85
キーパッド トーンの変更	86
ネットワーク プロファイル リストの表示	87

履歴およびディレクトリの使用	88
履歴の使用	88
ディレクトリ ダイヤリング	90
電話機での社内ディレクトリの使用	90
電話機での個人ディレクトリの使用	91
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降	91
Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降	91
電話機での電話帳の使用	95
ボイス メッセージへのアクセス	99
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	101
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ	102
ユーザ オプション Web ページへのログイン	102
IP Phone サービスへの登録	103
Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ	104
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	104
Web での機能およびサービスの設定	105
Web での短縮ダイヤルの設定	106
Web での個人ディレクトリの使用	107
Web での IP Phone サービスの設定	109
Web でのユーザ設定の制御	111
Web での回線設定の制御	112
Cisco WebDialer の使用	114
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	116

その他の設定オプションについて	118
電話機のトラブルシューティング	120
一般的なトラブルシューティング	120
電話管理データの表示	122
Quality Reporting Tool の使用方法	122
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	123
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
安全情報を参照する	P.3の「安全と性能に関する情報」を参照してください。
電話をネットワークに接続する	P.12の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.24の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンとメニューについて調べる	P.31の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	P.29の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.37の「コールの発信：基本オプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.44の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.46の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.48の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.52の「会議コールの使用方法」を参照してください。
別の番号にコールを転送する	P.50の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。
電話番号を共有する	P.64の「共有回線の使用」を参照してください。
別の電話機で呼び出し中のコールに応答する	P.61の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.75の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.58の「短縮ダイヤル」を参照してください。
呼出音の音量やトーンを変更する	P.78の「呼び出しのカスタマイズ」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.88の「履歴およびディレクトリの使用」を参照してください。
ボイスメッセージを聞き取る	P.99の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページを使用して電話機をカスタマイズする	P.101 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ippt.shtml

安全と性能に関する情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、無線 IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



(注)

警告の各国語表記については、この製品に付属している『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Series and Peripheral Devices*』にある番号を参照してください。



警告

システムを電源に接続する前に、取り付け手順をお読みください。ステートメント 1004



警告

電源の異常および障害が発生した場合、Voice over IP (VoIP) サービスおよび緊急コールサービスは機能しません。VoIP および緊急コール サービスへのアクセスを回復するため、場合によっては、電源が復旧してから装置をリセットまたは再設定する必要があります。米国では、この緊急番号は 911 です。自国の緊急番号を確認してください。ステートメント 361



警告

バッテリーチャージャーのプラグとソケットは重要な切断手段となるため、常に手の届く場所に配置してください。ステートメント 1019



警告 バッテリーチャージャーでは、屋内取り付けの一環として短絡（過電流）保護を行う必要があります。国および各地域の配線規制に準拠して取り付けを行ってください。ステートメント 1045



警告 高濃度の引火性ガスが発生する場所など、危険な環境で Cisco Wireless IP Phone 7921G を使用しないでください。このような場所で無線デバイスを使用する前に、設置場所の安全管理責任者に確認してください。



警告 受話器には磁場が発生するので、ピンやクリップなどの小さい金属が引き寄せられる場合があります。ケガを避けるため、そうした物がある場所には受話器を置かないでください。

バッテリーの安全上の注意事項

次に示すバッテリーの安全上の注意事項は、Cisco Wireless IP Phone 7921G の専用バッテリーに適用されません。



警告 バッテリーの取り扱い方を間違えると破裂、発火の危険があります。バッテリーは、必ずシスコが指定する型番のバッテリーに交換してください。使用済みのバッテリーは、各自治体の条例などに従って廃棄してください。ステートメント 1015



警告 この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。ステートメント 1040



警告 バッテリーパックを火または水の中に廃棄しないでください。火の中に捨てると、バッテリーが爆発する可能性があります。

**注意**

バッテリーパックは、この装置だけで使用することを目的としています。

**注意**

バッテリーパックを分解、粉碎、破壊、または焼却しないでください。

**注意**

バッテリーパックの発火、消耗、または損傷の危険を防ぐために、バッテリー端子に金属を触れさせないようにしてください。

**注意**

損傷または漏電したバッテリーの取り扱いには、十分注意してください。電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗ってください。電解液が目に入った場合は、水で15分間目を洗い流し、医師の診察を受けてください。

**注意**

気温が104°F(40)を超える場合は、バッテリーパックを充電しないでください。

**注意**

バッテリーパックを保管するときは、高温(140°F、60 超)にさらさないでください。

**注意**

バッテリーパックを廃棄するときは、バッテリーの廃棄またはリサイクルに関する地域の制限について、お住まいの地域の条例などの規則をご確認ください。



注意

交換用バッテリーを入手するには、お近くの販売店にお問い合わせください。シスコの部品番号の付いたバッテリーだけを使用してください。

標準バッテリー：CP-BATT-7921G-STD

拡張使用バッテリー：CP-BATT-7921G-EXT



注意

ご使用の電話機に付属しているシスコの電源だけを使用してください。電源を交換する必要がある場合は、シスコの部品番号のリストを参照してください。

オーストラリア：CP-PWR-7921G-AU=

中央ヨーロッパ：CP-PWR-7921G-CE=

中国：CP-PWR-7921G-CN=

日本：CP-PWR-7921G-JP=

北米：CP-PWR-7921G-NA=

英国：CP-PWR-7921G-UK=

停電

電話を使用して緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電力が供給されている無線アクセスポイントに依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コールサービスへのダイヤルを行う必要があります。

規制国

この電話の無線周波数（RF）は、国ごとの規制に基づき設定されています。この電話をその規制国外で使用した場合は、電話が正しく機能せず、その国の規制に違反する場合があります。

医療環境

本製品は医療機器ではないため、他の装置や機器からの妨害を受けやすい無認可の周波数帯を使用する場合があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco Unified Wireless IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency（RF; 無線周波数）および Audio Frequency（AF; 可聴周波数）がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

Notices

The following notices pertain to this software license.

OpenSSL/Open SSL Project

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

License Issues

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License:

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
7. “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License:

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
4. “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”.

5. The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptography-related.
6. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License].

電話機の接続

システム管理者は、ユーザの新規 Cisco Unified Wireless IP Phone の設定を行い、社内の無線ネットワークおよび IP テレフォニー ネットワークに接続します。

充電式リチウム イオン バッテリにより、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G に電力が供給されます。電話機を使用するには、まず電話機にバッテリーを取り付け、充電する必要があります。各バッテリーが完全に充電されている場合、サービスを利用できる時間は次のとおりです。

- 標準バッテリーでは、最高 11 時間の連続通話と 150 時間の連続待ち受けが可能になります。
- 拡張バッテリーでは、最高 15 時間の連続通話と 200 時間の連続待ち受けが可能になります。

電話機のバッテリーの取り付けと取り外し

バッテリーの取り付けまたは取り外しを行うには、次の手順を実行します。

目的	操作
バッテリーの取り付け	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話機の下側にあるスロットに、バッテリーの爪をはめ込みます。バッテリーと電話機の電源端子がそれぞれ向かい合っていることを確認してください。 2. バッテリーが固定されるまで、バッテリーを電話機の本体に押し込みます。
バッテリーの取り外し	<ol style="list-style-type: none"> 1. 片手で固定用の爪を押し上げます。 2. もう一方の手でバッテリーの端を支え、バッテリーを引き出して取り外します。



1	固定用の爪：これを押し上げてバッテリーを取り外します。
2	バッテリーの爪：バッテリーを取り付けるときには、電話機の下側近くにあるスロットにこれらをはめ込みます。
3	電源端子：バッテリーの端子と電話機の端子が向かい合うようにします。

電話機のバッテリーの充電

AC 電源装置または USB ケーブルを電話機に接続することによって、無線 IP Phone でバッテリーを充電することができます。詳細については、次の項を参照してください。

- AC 電源装置を使用しているバッテリーの充電 (P.14)
- USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電 (P.16)

バッテリーの種類	AC 電源装置を電話機に接続した場合の充電時間	USB ケーブルを使用して PC の USB ポートに電話機を接続した場合の充電時間
標準	2 時間	5 時間
拡張	3 時間	7 時間



(注) デスクトップチャージャーやマルチチャージャーを使用して、バッテリーを充電することもできます。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide](#)』を参照してください。

AC 電源装置を使用しているバッテリーの充電

AC 電源装置を電話機に接続することによって、バッテリーをすばやく充電できます。AC 電源コンセントが異なる場合は、適切な AC プラグアダプタを AC 電源装置に取り付ける必要があります。

バッテリーの充電中でも電話機は使用できます。バッテリーの充電後は、電源装置のコードを抜いても、電源コードに電話機を接続したままにしておいてもかまいません。

AC 電源装置を使用して電話機のバッテリーを充電する場合は、次の図を参照してください。



181054

1	AC プラグ アダプタ : AC プラグ アダプタを電源装置のスロットに挿入します。
2	AC 電源装置 : AC コンセントに差し込みます。
3	AC 電源装置ケーブルの電話機コネクタ : 電話機の下部にあるコネクタのスロットに差し込みます。
4	インジケータ ライト : 充電のステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 赤 : バッテリの充電が進行中 緑 : バッテリの充電が完了

USB ケーブルと PC の USB ポートを使用したバッテリーの充電

USB ケーブルで電話機を PC の USB ポートに接続することによって、電話機のバッテリーを充電できます。PC 上の USB ポートを使用してバッテリーを充電すると、充電時間が長くなります。

USB ケーブルと USB ポートを使用してバッテリーを充電するには、次の図を参照して手順を実行してください。



180350

目的	操作
USB ケーブルを使用してバッテリーを充電する	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルに付いている電話機のコネクタを電話機に差し込みます。 2. USB A タイプ コネクタを PC の USB ポートに差し込みます。 <p> (注) 新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されたら、次の手順を実行してそれを中断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 電話機のステータス行に「USB が接続されました」と表示されたら、インジケータ ライトを確認します。 バッテリーの充電中は、インジケータ ライトは赤です。バッテリーが完全に充電されると、インジケータ ライトは緑になります。
USB ポートへの接続時に新しいハードウェアの検索ウィザードが開かないようにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウィザードのダイアログボックスを使用するため、[次へ]をクリックします。 2. [ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?]ダイアログで、[いいえ、今回は接続しません]をクリックし、[次へ]をクリックします。 3. [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]をクリックし、[次へ]をクリックします。 4. 数秒後、[このハードウェアをインストールできません]ダイアログが表示されます。[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない]をクリックします。 5. [終了]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

電話機の電源オン

バッテリーを充電後、電話をかけたたり受信したりするには、電話機の電源をオンにする必要があります。

目的	操作
電話機の電源をオンにする	<ol style="list-style-type: none">1. 電話機の電源がオンになるまで、 (赤色のボタン) を押したままにします。2. ユーザ名とパスワードを入力して無線ネットワークにアクセスする必要があります。詳細については、P.19 の「ユーザ名とパスワードの設定」を参照してください。3. 認証と Cisco Unified Communications Manager への登録が完了すると、電話機にメイン画面が表示され、電話を発信または受信できる状態になります。
信号の強度を確認する	<p> アイコンには、無線アクセス ポイントとユーザの電話機間の信号強度が示されます。電話機でコールを発信または着信するには、少なくとも 1 本のバーが必要です。</p> <p>信号の到達範囲外に電話機を移動させると、無線 LAN との通信が失われます。 アイコンが表示され、「サービス圏外に接近中」ステータス行が表示されます。</p>

ヒント

アイドル状態の電話機の画面は、ある程度の時間がたつとオフになります。電話機がまだオンになっていて、バッテリーの電力を使用して無線ネットワークに接続している場合は、それを知らせるためインジケータ ライトが 2 秒ごとに緑色に点滅します。

ユーザ名とパスワードの設定

ネットワークによっては、電話機の電源を最初にオンにしたときに、無線ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードを設定しなければならない場合があります。詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

目的	操作
ユーザ名とパスワードの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([設定]) > [ネットワークプロファイル] を選択します。 2. 現在のプロファイル名を強調表示し( を使用) [表示] を押します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> (注)  アイコンは、この画面がロックされていることを示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> </div> 3. [WLANの設定] を強調表示し、[表示] を押します。 4. [ユーザ名] または [パスワード] までスクロールして、 を押します。 5. キーパッドを使用して、[新規 ユーザ名] または [新規 パスワード] フィールドにユーザ名またはパスワードを入力します。 これについては、P.20 の「テキストの入力と編集」を参照してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> (注) EAP/LEAP パスワードは、英数字を使用して 32 文字以内で入力してください。</p> </div> 6. 変更を確認するには、[オプション] > [保存] を選択します。 7. メイン画面に戻るには、 (赤色のボタン) を押します。

テキストの入力と編集

パスワードには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドの数字キーを押すと、そのキーが制御するすべての文字と記号が表示されます。キーを押すたびに、別の文字が表示されます。

目的	操作
文字の入力	数字キーを押し続けて、入力する文字（小文字または大文字）を強調表示させます。
数字の入力	数字キーを押して、入力する数字を見つけます。
最後の文字の削除	<< を一度押して最後の文字または数字を削除するか、<< を押し続けて文字列全体を削除します。
スペースの入力	文字間にスペースを入力するには、  を押します。
特殊文字と記号の入力	 を押すと、次の記号を表示および入力できます。*+ - / = \ ; ;  を押すと、次の記号を表示および入力できます。スペース, , ‘ “ _ ~ ‘  を押すと、次の記号を表示および入力できます。# ? () [] { }  を押すと、次の記号を表示および入力できます。! @ < > \$ % ^ &
編集モードのキャンセル	メニュー オプションやメイン画面に戻るには、必要に応じて [オプション] > [キャンセル] を押します。

TAPS（内線番号自動登録システム）への登録

電話機を無線 LAN ネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support（TAPS）を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、切断します。電話機が再起動します。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のアクセサリ

ご使用の電話機では、次の電話アクセサリを使用できます。

- 標準および拡張バッテリー
- 各地域用の AC 電源
- スピーカフォン付きのデスクトップチャージャー
- マルチチャージャー
- キャリングケース
- ロックセット

アクセサリの一覧については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide](#)』を参照してください。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、[P.75](#)の「[ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法](#)」を参照してください。シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、[P.6](#)の「[外部デバイスの使用](#)」を参照してください。

特定のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ご使用の電話機のヘッドセットの詳細は、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide*』および次の Web サイトを参照してください。

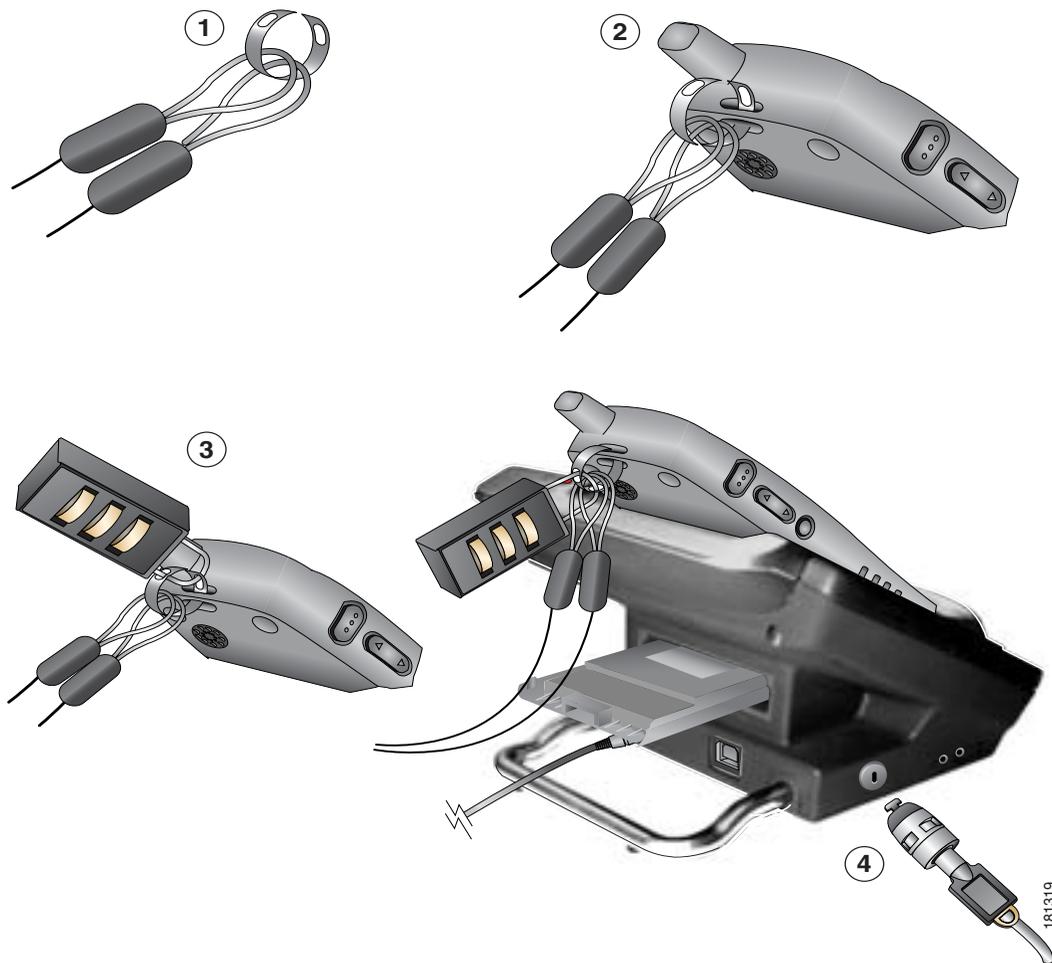
- <http://www.plantronics.com>
- <http://www.jabra.com>

ロック セットとケーブル ロックを使用しての電話機の固定

シスコからロック セットを注文して、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G をデスクトップに固定することができます。詳細については、『*Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide*』を参照してください。

ロック セットを取り付ける場合は、図を参照して次の手順を実行してください。

目的	操作
電話機にロック セットを取り付ける	<ol style="list-style-type: none">1. セキュリティ ケーブルをデスクトップの支柱の周りに、または穴を通して、取り付けます。セキュリティ ケーブルの端にあるループを C リングに通します。2. ケーブル ループの付いた C リングを電話機の背面にあるスロットに挿入します。3. ダイヤル ロックを使用して、ケーブル ループと電話機を通した C リングの両端を固定します。 電話機がデスクトップの周辺に固定されます。4. デスクトップ チャージャーを固定するには、ラップトップ ケーブルロックを使用します。



Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のデスクトップチャージャーは、ラップトップケーブルロックを使用して固定できます。デスクトップチャージャーの側面にあるセキュリティスロットにロックを取り付け、ケーブルをデスクトップに固定します。ロックを挿入する場所は、図を参照してください。ロックセットには、ケーブルロックは含まれていません。

電話機の概要

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G は、コンピュータで使用する同じ無線 LAN で音声通信を行うための機能をすべて搭載した電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。

設定に応じて、この電話機は次の機能をサポートします。

- 電話番号と社内ディレクトリへの無線アクセス
- 最大 100 件の連絡先と、これらのローカル電話帳の連絡先に割り当て可能な短縮ダイヤル ホットキーを格納できる電話帳
- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページを使用した、オンラインによる電話機の機能とサービスのカスタマイズ
- 電話機のスクリーンに情報を表示するオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを次の図に示します。



1	インジケータ ライト (LED)	<p>次の表示があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 点滅しない赤: 電話機が AC 電源に接続され、バッテリーが充電中です。 • 点滅しない緑: 電話機が AC 電源に接続され、バッテリーが完全に充電されています。 • 速く点滅する赤: 着信コール (電話機は、充電中または完全に充電されています)。 • ゆっくりと点滅する赤: ボイス メッセージ (電話機が AC 電源に接続されている場合は、バッテリーだけを使用している場合よりも赤色のライトが長く表示されます)。 • ゆっくりと点滅する緑 (2 秒ごと): 電話機はバッテリーの電力だけを使用しています。電話機は無線ネットワークに登録されており、サービスが及ぶ範囲内にあります。
2	ヘッドセット ポート 	ヘッドセットまたは小型イヤホンをプラグインするためのポート。
3	スピーカ ボタン 	電話機のスピーカ モードをオンまたはオフに切り替えます。
4	右ソフトキー ボタン 	ソフトキーのリストにアクセスするには、[オプション] メニューをアクティブにします。ソフトキー ラベルが表示される場合もあります。

5	<p>ナビゲーション ボタン</p> 	<p>メイン画面から次のメニューとリストにアクセスします。</p> <p>ディレクトリ ▲ </p> <p>回線表示 ▶ </p> <p>設定 ▼ </p> <p>サービス ◀ </p> <p>メニューを上下にスクロールして、オプションを強調表示したり電話番号とテキスト エントリを左右に移動したりするために使用します。</p>
6	<p>選択ボタン</p> 	<p>メイン画面から、[ヘルプ] メニューをアクティブにします。</p> <p>メニュー項目、ソフトキー、コール、またはアクションの選択に使用します。</p>
7	<p>電源 / 終了キー (赤)</p> 	<p>電話機のオンとオフを切り替えたり、接続されているコールを終了したり、着信コール中の呼出音を無音にしたりします。</p> <p>メニューを使用している場合は、メイン画面に戻るショートカットとして動作します。</p>
8	<p>シャープ (#) キー</p> 	<p>キーパッドをロックします。</p> <p>テキスト入力時は次の特殊文字を入力できます。 # ? () [] { }</p>
9	<p>ゼロ (0) キー</p> 	<p>番号をダイヤルするときに「0」を入力します。テキスト入力時に、スペースまたは次の特殊文字を入力できます。 , . ‘ “ _ ~ ’</p>
10	<p>アスタリスク (*) キー</p> 	<p>呼出音モードとバイブレーション モードを切り替えます。</p> <p>テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。 * + - / = \ ; ;</p>
11	<p>キーパッド</p>	<p>番号のダイヤル、文字の入力、および番号によるメニュー項目の選択に使用します。</p>

<p>12 1 キー</p> 	<p>番号をダイヤルするときに「1」を入力します。ボイス メッセージ システムへのアクセスに使用します。</p> <p>テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。 ! @ < > \$ % ^ &</p>
<p>13 応答 / 発信ボタン(緑)</p> 	<p>鳴っているコールへの応答や番号のダイヤル後にコールを発信するために使用します。</p>
<p>14 左ソフトキー ボタン</p> 	<p>画面上に表示されるソフトキー オプションをアクティブにします。</p> <p>ユーザの設定により、メッセージに直接アクセスしたり、電話機がアイドル状態のときに電話帳を開いたりします。</p>
<p>15 ミュート ボタン</p> 	<p>ミュート機能のオン / オフを切り替えます。</p>
<p>16 音量ボタン</p> 	<p>電話機がアイドル状態の場合は、呼出音の音量を制御したり、バイブレーション オプションをオンにしたり、呼出音をオフにしたりします。</p> <p>着信コールの呼び出し中にこのボタンを 1 回押すと、そのコールの呼出音を無音にします。</p> <p>通話中は、ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ モードのスピーカの音量を制御します。</p>
<p>17 アプリケーション ボタン</p> 	<p>XML アプリケーション (Push to Talk やディレクトリ サービスなど) で使用します。詳細については、P.74 の「Push to Talk サービスの使用」を参照してください。</p>

電話スクリーンの機能について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G にはソフトキーが 2 つしかないので、電話機で使用できる機能オプションのリストが、オプション ソフトキーを押すと表示されます。オプション リストに表示される機能は、電話機がアイドル状態かアクティブなコール中かによって異なります。次に、オプション リストが開かれたメインの電話スクリーンを示します。



1	電話ステータス行アイコン	次のアイコン (アクティブな場合) と電話番号が表示されます。
		バッテリー アイコン: バッテリーの充電レベルを示します。
		信号アイコン: 信号の強度を示します。
		キー ロック アイコン: キーボードがロックされていることを示します。
		スピーカ アイコン: スピーカ モードがアクティブであることを示します。
		ミュート アイコン: ミュートがアクティブであることを示します。
		ヘッドセット アイコン: ヘッドセットが電話機に接続されていることを示します。
		呼出音オフ アイコン: 電話機のアラートが無音であることを示します。
		バイブレーション アイコン: 電話機のアラートがバイブレーションだけであることを示します。
		バイブレーションおよび呼出音アイコン: 電話機のアラートがバイブレーションと呼出音であることを示します。

	デスクトップチャージャーアイコン：電話機がチャージャーに接続されていることを示します。	
	デスクトップチャージャーサイレントアイコン：チャージャーに接続されている電話機の呼出音がオフであることを示します。	
	ボイスメッセージアイコン：ボイスメッセージがあることを示します。	
	アプリケーションアイコン：アプリケーション（Push to Talk など）がアクティブであることを示します。	
5026	プライマリ電話回線：プライマリ電話回線の電話番号を表示します。	
2	日付と時刻の行 14:43 07/01/29	時刻と日付の情報を表示します。
3	オプションメニュー	現在のコール状態のソフトキー機能を表示します。
4	ソフトキー ラベル エリア [メッセージ - 非表示]	ソフトキー オプションを表示し、ソフトキー機能のオプションリストへのアクセスを提供します。
		メニューまたは画面用のアクティブなナビゲーション矢印を表示します。
5	ステータスおよび情報 [オプション]	電話機のステータスまたは指示を示します。
6	メイン電話スクリーン	4つのメニューアイコンとヘルプを表示します。

機能ボタンとメニューについて

メイン電話スクリーンから、ナビゲーション ボタンを使用して機能メニューにアクセスできます。

目的	操作
機能メニューを開く	<p>ナビゲーション ボタンを使用して次の矢印のいずれかを押し、メニューが開かれます。</p> <p>メイン電話スクリーンから次のメニューとリストにアクセスします。</p> <p>ディレクトリ ▲ </p> <p>回線表示 ▶ </p> <p>設定 ▼ </p> <p>サービス ◀ </p>
メニューまたはリストをスクロールする	<p>上または下のナビゲーション ボタンを押します。</p> 
メニュー オプションを選択する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 項目のキーパッド番号キーを押します。 • スクロールして項目を強調表示してから、● ボタンを押します (ナビゲーション ボタンの中央)。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	<p>[戻る] を押します。</p>  <p>(注) メニューを閉じてメイン電話スクリーンに戻るには、任意のメニュー レベルから  を押します。</p>

目的	操作
カーソルの位置を変更し、電話番号または名前を編集する	左または右のナビゲーション ボタンを押します。 
強調表示されたコールまたはオプションを選択する	●を押します。
ヘルプにアクセスする	メイン画面から、●を押します。

電話機のヘルプ システムの使用

電話機には、オンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は画面に表示されます。

目的	操作
メイン メニューを表示する	●を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順 • ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ヘルプを使用して情報を表示する	●を押し、オンライン ヘルプ メイン メニューが表示されるのを待ってから、ヘルプを選択します。

電話機のボタンの使用

電話機のキーパッドおよびボタンは、頻繁に使用される次の機能へのショートカットとして使用できます。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
電話機のキーパッドのロックまたはロック解除	<p> キーを押し続けます (3 秒)。画面に「キーパッドがロックされました」と表示され、メイン画面の上側に  アイコンが表示されます。</p> <p>任意のキーを押すと、画面に「キーパッドをロック解除しますか？」と表示されます。[はい] を押すと  アイコンが消えて画面に「キーパッドがロック解除されました」と表示され、[いいえ] を押すとキーパッドが引き続きロックされます。</p> <p> (注) 着信コールを受けると、キーパッドのロックは一時的に使用できなくなります。</p>	キーパッドの自動ロック設定 (P.85)
呼出音モードとバイブレーションモードの切り替え	<p> キーを押し続けます。画面に「バイブレータをオンにします」と表示され、上部に  アイコンが表示されます。</p> <p>呼出音モードに切り替えるには、 キーを押し続けます。画面に「バイブレータをオフにします」と表示され、 アイコンが消えます。</p> <p> (注) 音量ボタンを使用してバイブレータを設定することもできます。</p>	呼び出しのカスタマイズ (P.78)
ボイスメッセージの聞き取り	<p> キーを押し続けます。電話機がボイスメッセージシステムに接続されます。</p>	ボイスメッセージへのアクセス (P.99)
コール中の音量の調整	<p>ハンドセット、スピーカ、またはヘッドセットでのコールについては、 を押します。</p>	電話機のボタンの使用 (P.33)
コールの呼出音パターンの変更	<p>電話機がアイドル状態の場合は、 を押して呼出音音量、バイブレータ、またはサイレントモードを設定します。</p>	呼び出しのカスタマイズ (P.78)

回線とコールの違いについて

ここでは、回線とコールの混同を避けるため、この2つの違いを説明します。

- 回線:他の人がコールを発信するために使用できる電話番号またはインターコムの番号にそれぞれ対応しています。ご使用の電話機は、6回線までサポートします。電話回線を確認するには、▶  を押して回線表示を開きます。回線表示リストの電話回線アイコン  を持つ電話番号と同じだけの回線を持つことができます。
- コール:1回線で複数のコール(通常最大4コール)をサポートできます。電話機は、24までのコールの接続をサポートしますが、システム管理者は、ユーザの必要に応じてコール数を調整することができます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

保留中(23827)と接続中(3956933)の2つのアクティブコールがあるメインの電話スクリーンを次に示します。



1	電話ステータス行	アイコンと電話番号
2	コールアクティビティ領域	発着信側情報、接続時間、コール状態アイコン
3	ステータス行	選択した回線のステータス
4	ソフトキーのラベル	コール機能とオプションのリスト

電話機には、回線とコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線には、コール アクティビティがありません。
	オフフック回線	この回線は使用中ですが、コールに接続されていません。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	着信コール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	使用中のリモート回線	共有回線がリモートで使用中です。P.64 の「共有回線の使用」を参照してください。
	コールの保留	コールが保留されています。P.44 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	コール転送が有効	プライマリ回線を転送しました。P.50 の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。
	認証されたコール	P.69 の「不審なコールのトレース」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.69 の「不審なコールのトレース」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」を参照してください。
	不明の状態の回線 (BLF)	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は未使用です。P.56 の「インターコム コールの発信と着信」を参照してください。
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.56 の「インターコム コールの発信と着信」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	通話相手がインターコム回線を押して発信者との双方向のオーディオをアクティブにしました。P.56 の「インターコム コールの発信と着信」を参照してください。

機能の可用性について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G の操作方法および利用可能な機能は、お客様の社内で使用されるコール処理エージェント、またお客様の社内の電話機サポート チームが電話機システムを設定した内容により異なることがあります。このため、このガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機システムで利用できない、または動作が異なる場合があります。機能の操作方法または可用性については、社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

電話機のクリーニング

電話スクリーンおよび電話機は、柔らかく乾いた布で軽く拭きます。電話機に液体や粉がかからないようにしてください。柔らかく乾いた布以外で拭くと、電話機の部品が汚れたり、故障したりする可能性があります。



(注) 電話機を清掃または消毒する必要がある場合は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G 用のシリコン カバーを購入してください。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G Accessory Guide](#)』を参照してください。

基本的なコール処理

基本的なコール処理は、さまざまな機能とサービスを使用して行うことができます。機能の Availability はそれぞれ異なる可能性がありますので、詳細についてはシステム管理者に確認してください。

コールの発信：基本オプション

無線 IP Phone には、次のように、簡単に電話をかける方法がいくつか用意されています。

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
ハンドセットを使用して コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2.  を押して発信します。  (注) <u>ダイヤルトーンはありません。</u>	コールへの応答 (P.42)
ハンドセットでスピーカ モードを使用してコール を発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ボタンを押し続けてスピーカをアクティブにします。 2. 電話番号をダイヤルします。 3.  を押して発信します。  (注) <u>再度  ボタンを押し続けて、スピーカモードをオフにします。</u>	ハンドセット、ヘッド セット、およびスピー カフォンの使用方法 (P.75)
番号をリダイヤルする	 を 2 回押すか、 [オプション] > [リダイヤル] を選択します。	

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 1. [保留] を選択します。 2. [オプション] > [発信] を選択します。 3. 番号をダイヤル、リダイヤル、または短縮ダイヤルします。 <p> (注) [発信] を選択すると、ダイヤル トーンが聞こえます。</p>	<p>コールの保留と復帰 (P.44)</p>
電話帳からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] または [電話帳] ソフトキー（使用可能な場合）を選択します。 2. 連絡先名を強調表示し、次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - 次のいずれかの電話番号アイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。  勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話 - [オプション] > [詳細] を選択し、電話番号を強調表示します。 3.  を押すか、[オプション] > [ダイヤル] を押します。 	<p>電話機での電話帳の使用 (P.95)</p>
通話履歴ログからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) を押します。 2. [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。 3. リストの番号キーを押すか、リストをスクロールして  を押します。 	<p>履歴の使用 (P.88)</p>

ヒント

- 番号をダイヤルし始めると、電話機は発信履歴ログから一致する番号を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは、自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号にコールを発信するには、その番号までスクロールし、 を押します。
- ダイヤル中に間違った場合は、<< を押して数字を消去します。
- 最後の番号をリダイヤルするには、 を 2 回押します。

コールの発信：追加のオプション

電話機に特別な機能やサービスが用意されていれば、それらを使用してコールを発信することができます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
ローカル電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルする	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル ホットキーを約 2 秒間押し続けます。 <p> (注) 2 桁の番号をダイヤルする場合は、最初の 1 桁を入力してから、2 桁目の数字を約 2 秒間押し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none">  ([ディレクトリ]) > [短縮ダイヤル] を選択し、短縮ダイヤルを強調表示してから、 を押します。 	<p>電話機での電話帳の使用 (P.95)</p> <p>短縮ダイヤル (P.58)</p>
電話番号に短縮ダイヤルする (Web で設定された回線表示短縮ダイヤル番号)	<ol style="list-style-type: none">  [回線表示] を押します。 短縮ダイヤル  にスクロールします。  または  を押して電話をかけます。 	<p>短縮ダイヤル (P.58)</p>
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (別の回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> [保留] を押します。  [回線表示] を押します。 別の回線にスクロールして  を押します。 電話番号をダイヤルします。  を押して電話をかけます。 	<p>コールの保留と復帰 (P.44)</p>
セカンダリ回線で発信する	<ol style="list-style-type: none">  [回線表示] を押し、別の回線へスクロールします。 電話番号をダイヤルします。  を押して電話をかけます。 	<p>複数のコール間での切り替え (P.46)</p>

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.   ([ディレクトリ]) > [ディレクトリサービス] > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [オプション] > [送信] を押します。 4. リストの番号キーを押すか、リストをスクロールします。 5. [ダイヤル] または  を押します。 	ディレクトリ ダイヤリング (P.90)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [オプション] > [折返し] を選択します。 2. 切断します。回線が利用できるようになると、電話機に通知されます。 3. 回線が使用可能な場合は、[ダイヤル] を押してコールを発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリリストと関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	BLF の使用による回線状態の確認 (P.67)
プライオリティ (Precedence) コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. MLPP アクセス番号を入力します。 2.  を押します。 3. 電話番号をダイヤルします。 4.  を押します。 	重要なコールの優先順位付け (P.69)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.   ([サービス]) > [PAB Service] を選択します。 2. ログイン情報を入力します。 3. [個人アドレス帳] を選択します。 4. キーパッドを使用して名前を入力します。 5. [オプション] > [送信] を押します。 6. リストをスクロールし、 を押します。 	ディレクトリ ダイヤリング (P.90)

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2.  を押します。 3. トーンが聞こえたら、ユーザ固有のコードである Client Matter Code (CMC) または認証に必要な Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログイン情報を入力します。 	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.71)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 3. 1 を押して会社の IP Phone にコールを発信します。 4. 自分の無線 IP Phone の電話番号以外の無線 IP Phone の電話番号にダイヤルします。 	1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.72)
Push to Talk コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [サービス] > [Push to Talk Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2.  または [Talk] を使用して送信します。 3.  または [停止] を押して終了します。 	Push to Talk サービスの使用 (P.74)

ヒント

モバイル ボイス アクセスを使用してコールを発信する前に、システム管理者から次の情報を取得してください。

- モバイル ボイス アクセスの番号
- エンド ユーザ PIN

コールへの応答

電話機でオプションが使用可能な場合は、それらのオプションを使用してコールに応答できます。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
コールに応答する	着信コールに接続するには、  を押して離します。	任意のキーを使用して電話機に応答する (P.84)
着信コールの呼出音を無音にする	 または  を押します。 コールは無音のまま続き、無応答の場合の宛先に転送されます。	
接続中のコールから呼び出し中のコールに応答する	 または  を押します。 この操作を行うと、新しいコールに応答し、自動的に最初のコールを保留にできます。	複数のコール間での切り替え (P.46)
コールウェイティングを使用して応答する	[応答] を押します。	
ボイス メッセージ システムに直接コールを送信する	[即転送] を押します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.99)
パークされたコールを別の電話で取得する	コールパークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.62)
自分の電話機を使用して別の場所で鳴っているコールに応答する	コールピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答 (P.61)
プライオリティコールに応答する	現在のコールを切断し、 [応答]  を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.69)
呼出音が 1 回または 2 回鳴った後の着信コールに自動接続する	自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。  を押さない場合、呼出音が 1 回か 2 回鳴った後、コールは自動的にハンドセットまたはヘッドセットに接続されます。	自動応答の使用 (P.77)

目的	操作	参照先または問い合わせ先
<p>携帯電話または他のリモート接続先でコールに応答する</p>	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にすると次のようになります。</p> <p>Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G とリモート接続先でコールを同時に受信します。</p> <p>Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G でコールに応答すると、リモート接続先の電話の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</p> <p>リモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、これらの電話には不在履歴メッセージが表示されます。</p>	<p>1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.72)</p>

ヒント

- 任意のボタンを使用してコールに応答する方法については、P.84 の「キーパッド設定の変更」を参照してください。
- キーパッドがロックされている場合でも、着信コールに応答できます。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。次に詳細を示します。

目的	操作
コールを終了する	 、[終了] または [オプション]>[終了] を選択します。
1つのコールだけを切断し、同じ回線のもう一方のコールを維持する	[終了]、または [オプション]>[終了] を選択します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールは、保留したり復帰したりすることができます。コールを保留にすると、保留アイコン  がコール表示の発信者 ID の横に表示されます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定時間が経過した後に復帰し、電話機で呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで保留状態のままです。

復帰コールがある場合、電話機の次のようなアクションによって示されます。

- 一定の間隔をおいて呼出音（点滅やビープ音など。ユーザの電話回線の設定によって異なる）を1回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留] を押します。 <p> (注) コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。</p>
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 保留を解除するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。

目的	操作
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [回線表示] を押し、別の回線へ変更します。 2. [復帰] を押します。 <p> (注) この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。別のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。</p>
無線電話機またはデスクの電話機へ共有回線のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールに接続している電話機から [保留] を押します。 2. 共有回線に接続している他の電話機で、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やピープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールを同時に受信しているという警告を受けると、デフォルトでは、ユーザの電話機は着信コールの表示に電話機スクリーンのフォーカスを移します。システム管理者はこのフォーカス優先度の設定を変更することができます。
- 共有回線を使用している場合、コールを保留する電話機でのみ保留復帰の呼出音が鳴り、この回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュート機能は、電話機またはヘッドセットで使用できます。

目的	操作
ミュートをオンにする	コール中に、電話機の左側にある  を押します。  アイコンが電話スクリーンの上部に表示されます。
ミュートをオフにする	 を押します。  アイコンが消えます。

複数のコール間での切り替え

1 本または複数の回線上で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーンで自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。

目的	操作
同じ回線上で接続されている複数のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。[復帰] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。
異なる回線上で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> [回線表示] を押し、別の回線へ変更します。この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。別のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールして強調表示し、[復帰] を押します。
接続中のコールから呼び出し中のコールに応答する	 を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  [回線表示] を押して他の回線に切り替え、  を押します。 アクティブなコールはすべて保留になります。

ヒント

- 電話機は、6 本の回線まで対応しますが、電話機の画面に表示されるのは 1 本の回線だけです。他の回線を表示するには、 **[回線表示]** を押す必要があります。
- 電話機は回線ごとに複数のコールを処理できますが、各電話機で処理できるコールは最大 24 です。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作
進行中のコールを無線 IP Phone から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。2. ユーザの携帯電話で進行中のコールに応答します。3. このコールが携帯電話で続行されている間、無線 IP Phone の表示はアイドル状態に変わります。
進行中のコールを携帯電話から無線 IP Phone に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。2. 無線 IP Phone で 4 秒以内に [復帰] を押し、無線 IP Phone で通話を開始します。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、[オプション] > [転送] を選択します。2. 転送先の電話番号をダイヤルします。3. [オプション] > [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、[オプション] > [転送] を選択します。2. 転送先の電話番号をダイヤルします。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [オプション] > [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する(直接転送)	<ol style="list-style-type: none">1. その回線上の任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [オプション] > [選択] を選択します。選択したコールのそばに  が表示されます。3. その回線上のその他のコールをスクロールして強調表示します。4. [オプション] > [D 転送] を選択します。 2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	[オプション] > [即転送] を選択します。 コールがボイスメッセージ グリーティングに自動転送されます。[即転送] は、アクティブなコール、呼び出し中のコール、保留中のコールに使用できます。

ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断して転送を完了することも、[オプション]>[転送]を選択してから切断することもできます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、[転送]を使用せずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、[復帰]を選択します。

すべてのコールの別の電話番号への転送

[不在]を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできません。

目的	操作
プライマリ回線のコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. [オプション]>[不在]を選択します。2. 転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[オプション]>[不在]を選択します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	ステータス行にあるコールの転送先電話番号、およびプライマリ回線の横にある  アイコンを見つけます。
任意の回線のコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします P.104 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. [すべてのコールを別の番号に転送]を選択します。3. プライマリ回線またはセカンダリ回線を選択します。



(注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替として、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます（ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります）。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線の転送条件を変更することができます。

サイレントの使用

サイレント（DND）機能を使用して、着信コールの呼出音が鳴らないようにできます。システム管理者がユーザの電話機のサイレントを有効にできます。

電話機で [サイレント] と [全てのコールの転送] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

インターコム回線の場合は、サイレントがアクティブでも呼出音が鳴ります。

目的	操作
サイレントをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> ▶  [回線表示] を押します。 サイレント オプション ボタンを選択し、オンにします ()。電話機に「サイレントはアクティブです」と表示され、呼出音はオフになります。
サイレントをオフにする	<ol style="list-style-type: none"> ▶  [回線表示] を押します。 サイレント オプション ボタンを選択し、オフにします ()。
サイレントの設定をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします。P.101 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 ドロップダウン メニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 次のオプションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> サイレント：サイレントを有効または無効に設定します。 DND 着信呼警告：警告をピープ音のみまたは点滅のみにするか、すべての表示および音声による警告通知を無効にします。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、3 名以上を 1 台の電話機の会話に参加させ、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準（アドホック）の会議とミーティング会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

標準（アドホック）の会議コールは、必要性や電話機で利用できるソフトキーに応じて、次のように複数の方法で作成できます。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールを結合して標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ利用できません。

手順の詳細については、[P.53 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。

ミーティング会議コール

ミーティング会議コールは、指定された時刻にミーティング電話番号に発信して作成します。

手順の詳細については、[P.55 の「ミーティング会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、3名以上の参加者が1つのコールで会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> 参加者に発信して会議コールを作成する 複数の会議コールに新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 接続したコールから、[オプション] > [会議] を選択します。 参加者の電話番号を入力します。 コールが接続されるのを待ちます。 [オプション] > [会議] をもう一度選択して、参加者をコールに追加します。 この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
複数の既存のコールを結合して、会議コールを作成する	<ol style="list-style-type: none">  [回線表示] を押して、単一の回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 会議コールに追加するコールにスクロールします。 [オプション] > [選択] を選択します。 選択されたコールにアイコン  が表示されます。 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 接続したコールから、[オプション] > [参加] を選択します。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線でコールに割り込んで、会議コールを作成する	<ol style="list-style-type: none">  [回線表示] を押して、共有回線上のコールを選択します。 [オプション] > [C 割込] を選択します。 <p>P.64の「共有回線の使用」を参照してください。</p>
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none">  [回線表示] を押して、アクティブな会議を選択します。 [オプション] > [参加者] を選択します。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[オプション] > [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を探します。

目的	操作
会議に最後に追加された参加者を削除する	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、[オプション] > [ドロップ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。</p>
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [オプション] > [参加者] を選択します。 3. 参加者の名前にスクロールして強調表示します。 4. [オプション] > [削除] を選択します。 <p>参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。</p>
会議への参加を終了する	<p>、[終了] または [オプション] > [終了] を選択します。</p>

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから [会議] または [参加] を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開始した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

ミーティング会議コールの開催または参加

ミーティング会議では、会議番号をダイヤルして、会議を開催または会議に参加します。

目的	操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 2. 取得した番号を参加者に通知します。 3. 会議を始める準備ができたなら、[オプション] > [ミーティング] を選択します。 4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 5.  を押します。 <p>参加者は、ダイヤルインで会議に参加できます。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度発信し直す必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミーティング会議番号をダイヤルします(この番号は会議の開催者から提供されます)。 2.  を押します。 <p> (注) 開催者がダイヤルインする前に、会議にコールした場合、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアなミーティング会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.68 の「セキュアなコールの送受信」](#)を参照してください。

インターコム コールの発信と着信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。通話相手が現在実行中の全コール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- インターコムを終了するには、[終了] ソフトキーを押します。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- インターコム回線を選択し、マイクロフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム回線を選択し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用できます。
- 別のインターコム回線がアクティブのときにインターコム コールに応答した場合、最初のインターコム コールは終了します。



(注) Cisco Extension Mobility では、インターコム回線はサポートされていません。

目的	操作
事前定義した（短縮ダイヤル）インターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1.  [回線表示] を押します。2.  (インターコム回線) を選択し、通話相手のインターコム番号をダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1.  [回線表示] を押します。2.  (インターコム回線) を選択し、通話相手のインターコム番号をダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。

目的	操作
インターコム コールを受信する	<p>インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 一方向のオーディオのメッセージを聞く。•  ([回線表示]) を押し、インターコム回線を選択し、発信者と会話する。• [終了] を押して、コールを終了する。

コール処理の応用

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、ホットキーを押したり、リストから選択したりしてコールを発信できます。電話機は設定に応じて、次のような短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- [短縮ダイヤル ホットキー \(P.58\)](#)
- [回線表示短縮ダイヤル \(P.59\)](#)
- [固定短縮ダイヤル \(P.59\)](#)
- [ファーストダイヤル \(P.59\)](#)

短縮ダイヤル ホットキー

短縮ダイヤル ホットキーを使用すると、電話機にローカルに保存されている電話帳の連絡先番号にすばやくダイヤルすることができます。短縮ダイヤル ホットキーは、電話機から最大 99 個設定できます。コールを発信するには、短縮ダイヤル ホットキーを押し続けるか、[[ディレクトリ](#)] > [[短縮ダイヤル](#)] を選択します。

割り当てられている電話機の種類によって異なりますが、メイン電話帳画面には次の短縮ダイヤル アイコンが表示されます。

 勤務先電話

 自宅電話

 携帯電話

 他の電話

電話帳の連絡先詳細で、短縮ダイヤル ホットキーに割り当てられている電話番号の下に、短縮ダイヤルアイコン () が表示されます。

詳細については、P.60の「[短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用](#)」およびP.95の「[電話機での電話帳の使用](#)」を参照してください。

回線表示短縮ダイヤル

回線表示短縮ダイヤルを使用すると、ローカル電話帳に保存されていない電話番号にすばやくダイヤルすることができます。回線表示短縮ダイヤル番号は、ユーザ オプション Web ページから設定します。電話機には、最大 6 個の番号 (回線番号および短縮ダイヤル番号の組み合わせ) を表示できます。

コールを発信するには、[回線表示] から短縮ダイヤル () を選択します。

詳細については、P.60の「[短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用](#)」およびP.106の「[Web での短縮ダイヤルの設定](#)」を参照してください。

固定短縮ダイヤル

固定短縮ダイヤルを使用すると、固定短縮ダイヤル コードを使用して電話番号にダイヤルすることができます。固定短縮ダイヤルは、ユーザ オプション Web ページから設定します。

コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力して、[短縮] ソフトキーを押します。

詳細については、P.60の「[短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用](#)」およびP.106の「[Web での短縮ダイヤルの設定](#)」を参照してください。

ファーストダイヤル

ファーストダイヤルを使用すると、ファーストダイヤル リストからコールを発信できます。まずユーザ オプション Web ページからファーストダイヤル サービスに登録し、ファーストダイヤル コードを設定する必要があります。ファーストダイヤル コードは、Web 上の個人アドレス帳のエントリに割り当てることもできます。

コールを発信するには、[ファーストダイヤル] リストからファーストダイヤル サービス オプションを選択します。

詳細については、P.60の「[短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用](#)」、P.106の「[Web での短縮ダイヤルの設定](#)」、およびP.107の「[Web での個人ディレクトリの使用](#)」を参照してください。



(注) システム管理者がユーザの代わりに短縮ダイヤル機能を設定することもできます。

短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用

この機能を使用する前に、電話帳から短縮ダイヤル機能を設定する（P.95の「電話機での電話帳の使用」を参照）またはユーザ オプション Web ページで短縮ダイヤルを設定する（P.101の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照）必要があります。

目的	操作
短縮ダイヤル ホットキーを使用して電話帳の連絡先に発信する	<ol style="list-style-type: none">1. 短縮ダイヤル ホットキーを [電話帳] で設定します。2. 次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">- 短縮ダイヤル ホットキーを約 2 秒間押し続けます。 <p> (注) 2桁の番号をダイヤルする場合は、最初の1桁を入力してから、2桁目の数字を約2秒間押し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none">- ▲  [ディレクトリ] > [短縮ダイヤル] を選択し、短縮ダイヤルを強調表示してから、 を押します。
短縮ダイヤル番号を使用して別の番号（電話帳に保存されていない）にコールする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル番号を設定します。2. コールを発信するには、▶  [回線表示] を押します。3. ラベルの付いた短縮ダイヤル番号へスクロールし、 を押します。 <p> (注) 回線表示には、電話番号と、その後に  で示される短縮ダイヤル番号が表示されます。6つの項目（回線と短縮ダイヤル）を表示できます。</p>
固定短縮ダイヤル機能を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページから固定短縮ダイヤル コードを設定します。2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル機能コードを入力します。3. [オプション] > [短縮] を選択します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤル サービスに登録し、ファーストダイヤル コードを設定します。P.101の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. コールを発信するには、使用する電話機で、◀  [サービス] > [Fast Dial service] を選択します（名前は異なる場合があります）。3. リストをスクロールし、 を押します。

自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。コールピックアップは、同僚とコール処理を共有している場合に使用できます。

目的	操作
同じコール ピックアップ グループ内の別の内線呼び出ししているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [ピック] を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。 2. 自分の電話機でコールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [G ピック] (使用可能な場合) を選択します。 2. グループ ピックアップのコードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。 3. 自分の電話機でコールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられているグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション] > [他 Grp] (使用可能な場合) を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。 2. 自分の電話機でコールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- 電話機がどのように設定されているかに応じて、ピックアップ グループへのコールに関する音声または表示によるアラートを受信する場合があります。
- **[ピック]** と **[G ピック]** を押すと、最も長く鳴り続けているコールに接続します。
- **[他 Grp]** を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリ回線以外の回線でコールに応答する場合は、まず  (**[回線表示]**) を押してピックアップする回線に切り替え、それから **[オプション]** とコール ピックアップのソフトキーを押します。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク : [**パーク**] ソフトキーを使用してコールを保存します。電話機に、システムがコールを保存したコール パーク番号が表示されます。この番号を記録しておき、同じ番号を使用してコールを取得する必要があります。
- ダイレクト コール パーク : [**転送**] ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルで使用可能なダイレクト コール パーク番号にコールを割り振ります。ダイレクト コール パークの番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクト コール パークの番号にダイヤルするか短縮ダイヤルする必要があります。短縮ダイヤルをダイレクト コール パーク番号として使用でき、ダイレクト コール パーク番号が使用中か使用可能かを監視できます。

目的	操作
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に [オプション] > [パーク] を押します。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールのパーク番号を書き留めます。3.  を押します。
パーク中のコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コール パーク番号に割り振って保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[転送] を押します2. パーク未使用アイコン  が表示された短縮ダイヤル番号を選択し、ダイレクト コール パーク番号に短縮ダイヤルします。 パーク使用中アイコン  が表示された短縮ダイヤル番号は、ダイレクト コール パーク番号が使用できないことを示しています。 <p> (注) 短縮ダイヤル番号に BLF が設定されていない場合は、ダイレクト コール パーク番号が使用可能かどうかにかかわらず、このアイコンは表示されません。</p> <ol style="list-style-type: none">3. もう一度 [転送] を押して、そのコールの保存を終了します。
ダイレクト コール パーク番号からパークされたコールを取得する	任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力してダイレクト コール パーク番号にダイヤルします。

ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ハント グループからのログアウト

所属している組織が大量の着信コールを受信する場合は、ハント グループのメンバーになることができます。ハント グループには、着信コールのロードを共有する一連の電話番号が含まれています。ハント グループ内の最初の電話番号が話し中である場合、システムはグループ内で次に使用可能な電話番号を探し、コールをその電話機に転送します。電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループ コールが電話機で鳴らないようにすることができます。

目的	操作
ハント グループからログアウトして、ハント グループ コールを一時的にブロックする	[オプション] > [ハント] を選択します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハント グループ コールを受信する	[オプション] > [ハント] を選択します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次の場合は、共有回線を使用するようシステム管理者から求められることがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使用する場合
- コール処理タスクを同僚と共有する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中

「リモートで使用中」のメッセージおよび  アイコンは、回線を共有している他の電話機に接続されたコールがあり、プライバシー機能が無効になっている場合に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G に表示されます。「リモートで使用中」のメッセージまたは  アイコンが表示されていても、共有回線で通常どおりコールを発信したり、受信したりできます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有している電話機には、共有回線上の発信コールや受信コールに関する情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および 通話期間が含まれます(例外については、「[プライバシー](#)」の項を参照)。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有しているユーザ同士は、[**割り込み**] または [**C 割り込**] を使用して、コールに参加することができます。P.65 の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

割り込み：組み込みブリッジを有効にしている IP Phone との共有回線のコールに参加できます。

C 割り込：任意の IP Phone との共有回線のコールに参加し、コールを会議に切り替えることができます。

プライバシー

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G では、プライバシー機能がデフォルトで有効になっています。回線を共有している同僚は、コールの情報を参照できません。回線を共有している同僚の画面に情報を表示するには、ユーザの電話機でプライバシー機能を設定する必要があります。P.66 の「[他者による共有回線のコールの表示および参加の防止](#)」を参照してください。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G は、1本の共有回線で最大24件のコールをサポートできません。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて、割り込みまたはC割り込みのいずれかを使用して、コールに参加できます。

目的	操作
共有回線が使用中かどうかを確認する	 アイコンおよび「リモートで使用中」のメッセージが表示されているかどうかを確認します。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。場合によっては、回線表示を使用する必要があります。 2. [オプション] > [割り込み] を選択します。他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[C 割り込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。場合によっては、回線表示を使用する必要があります。 2. [オプション] > [C 割り込] を選択します。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話スクリーンのコール情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議参加者を追加する	<p>可能であれば、[C 割り込] を使用してコールに割り込みます。</p> <p> (注) C 割り込み機能を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P.52 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
共有回線のコールを他方の電話機に切り替える	[保留] を押します。同じ共有回線に接続している他の電話機で、[復帰] を押します。
割り込んだコールから離脱する	<p>[終了] または  を選択します。</p> <p>割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールは続行します。</p> <p>C 割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、回線を共有している他の電話機に、コールに関する情報と割り込みのソフトキーが表示されません。
- コールが保留状態になるか、転送されるか、または電話会議に切り替えられた場合、[割り込み] を使用して参加しているコールから、ユーザは切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および参加の防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用して、回線を共有する他者が自分のコールを表示したり、コールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [オプション] > [非通知] を選択します。2. プライバシー機能が有効であることを確認するには、電話番号の横に  (プライバシー機能有効アイコン) が表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [オプション] > [非通知] を選択します。2. プライバシー機能が無効であることを確認するには、電話番号の横に  (プライバシー機能無効アイコン) が表示されていることを確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。その結果、複数の共有回線がある状態でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示またはコールに割り込みできなくなります。

BLF の使用による回線状態の確認

設定に応じて、Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用して、電話機の短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリ リストに関連付けられた電話回線の状態を確認することができます。この回線にコールを発信することは、BLF ステータスにかかわらず可能です。この機能は、ダイヤルを妨げるものではありません。

目的	操作
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の隣のインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="471 532 753 578"> 回線は使用中です。 <li data-bbox="471 586 854 631"> 回線はアイドルの状態です。 <li data-bbox="471 639 1134 685"> この回線では、BLF インジケータは使用できません。
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の隣のインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="471 800 753 846"> 回線は使用中です。 <li data-bbox="471 854 854 899"> 回線はアイドルの状態です。 <li data-bbox="471 907 1134 953"> この回線では、BLF インジケータは使用できません。

セキュアなコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機ではセキュアなコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次の種類のコールがサポートされています。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機が Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュアコール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールのセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコール  暗号化されたコール コールがノンセキュアの場合は、いずれのセキュリティ アイコンも表示されません。
社内でセキュアなコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

 **(注)** 電話機でのセキュリティ機能の動作に影響を与える相互作用、制限、および限定事項があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審または迷惑なコールを受信している場合、システム管理者は、電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用するとアクティブなコールと不審なコールとを見分けることができます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[オプション] > [迷惑呼] を選択します。 トーンが鳴り、「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

政府機関や軍事施設のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール ウェイティングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	操作
コールのプライオリティ レベルを確認する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">  プライオリティ コール  中程度のプライオリティの（即時）コール  プライオリティの高い（フラッシュ）コール  プライオリティの最も高い（フラッシュ オーバーライド）コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常（ルーチン）です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	<p>コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。</p>
コール中に連続したトーンが聞こえる	<p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p>

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント機能が無効になります。

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。EM は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ◀  [サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. (システム管理者から提供された) ユーザ ID と PIN を入力します。 3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ◀  [サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトの確認を求められたら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が経過すると、EM から自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページから EM プロファイルに対して行った変更は、次回、電話機の EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御されている設定は、EM プロファイルには保存されません。

1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトと モバイル ボイス アクセスをインストールしておく、無線 IP Phone の電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。スマートフォンは、Web ブラウジング、電子メール、アドレス帳、カレンダーといったパーソナル コンピュータの機能を備えたモバイル電話機の一つです。

目的	操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。P.116 の「 モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定 」を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	P.42 の「 コールへの応答 」を参照してください。
進行中のコールをデスクトップの電話機と携帯電話との間で切り替える	P.47 の「 進行中のコールの他の電話機への切り替え 」を参照してください。
スマートフォンで応答しているコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [保留] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。2. スマートフォンの [復帰] ソフトキー (名前は異なる場合があります) を押します。P.47 の「進行中のコールの他の電話機への切り替え」を参照してください。
スマートフォンで応答しているコールを別の番号に転送する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [転送] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. コールを転送するエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。3. [転送] ソフトキーを押してコールの転送を完了します。
スマートフォンで応答しているコールで会議コールを開始する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [会議] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. 会議用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。3. [会議] ソフトキーを押して会議の設定と、両方の発信者を会議に含める手順を完了します。

目的	操作
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 任意の電話機から、割り当て済みのモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを有効化するか 1 台のみで有効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 全電話機で有効にする：2 を押します。 - 1 台の電話機で有効にする：1 を押してからリモート接続先として追加する番号を入力し、直後に # を押します。
携帯電話からコールを発信する	<p>P.39 の「コールの発信：追加のオプション」を参照してください。</p>
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを無効化するか 1 台のみで無効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 全電話機で無効にする：2 を押します。 - 1 台の電話機で無効にする：1 を押してからリモート接続先として削除する番号を入力し、直後に # を押します。

ヒント

- モバイル ボイス アクセスにコールするときは、次の条件が当てはまる場合、PIN に加えて発信番号も入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号以外である。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示）。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに一覧されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。

- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、ユーザは一定の時間ロックアウトされてアクセスできなくなります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Push to Talk サービスの使用

Push to Talk サービスを使用すると、組織のメンバーとすぐに連絡をとることができます（双方向ラジオと類似）。システム管理者は XML アプリケーションを使用して Push to Talk サービスを設定し、ユーザはこのサービスに登録する必要があります。

目的	操作
Push to Talk サービスにアクセスする	<p>Cisco Unified CallManager 4.1 以降を使用しているシステムの場合は、P.103 の「IP Phone サービスへの登録」を参照してください。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager 5.0 以降を使用しているシステムの場合は、P.109 の「Web での IP Phone サービスの設定」を参照してください。</p>
Push to Talk サービスを使用する	<ol style="list-style-type: none">  〔サービス〕 > 〔Push to Talk〕 を選択します（名前は異なる場合があります）。  アイコンが表示されれば、Push to Talk サービスはアクティブになっています。 サービスの設定内容によって異なりますが、 ボタンを使用して送信を開始したり終了したりします。〔Talk〕 ソフトキーと 〔停止〕 ソフトキーを使用して送信と受信を切り替えることもできます。 <p> （注） Push to Talk サービスの使用方法の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機は、モバイル ハンドセットやスピーカフォンとして使用したり、ヘッドセットやデスクトップチャージャーのスピーカフォンとともに使用したりできます。

目的	操作
ハンドセットを使用する	 を押します。切断するには、  を押します。
ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセット コネクタをヘッドセット ポート  に接続します。  アイコンが電話機のステータス行に表示されます。通常どおりコールを発信および応答します。自動応答を使用する場合は、例外について P.77 の「自動応答の使用」 を参照してください。</p> <p>ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>ヘッドセットが電話機に接続されているとき、ヘッドセットのオーディオはアクティブなままです。</p>
スピーカ モードを使用する	<p>コールを発信する前またはコール中に  を 1 秒間押し続け、スピーカモードをアクティブにします。スピーカがアクティブなときは  アイコンが表示されます。</p> <p> (注) スピーカモードは、以降のコールのため、オフに切り替えるまでアクティブなままになります。</p>
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンに切り替える	<p> を 1 秒間押し続けると、 が表示されます。</p> <p> を押し続け、再びハンドセットへ切り替えます。</p>

目的	操作
<p>デスクトップチャージャーのスピーカフォンへ切り替える</p>	<ol style="list-style-type: none"> 無線 IP Phone をデスクトップチャージャーの受け台に置きます。画面に「AC が接続されました」と表示されます。 電話機の上部を押し下げます。画面に「ドッキングが接続されました」と表示され、電話機のステータス行に  アイコンが表示されます。デスクトップチャージャーのスピーカとマイクロフォンが接続されます。 コールを送受信します。  や  など、電話機のすべてのボタンを使用します。 電話機がデスクトップチャージャーにあるときは、ヘッドセットを使用してコールに応答できます。 <p> (注) 電話機の左下に、内蔵型単方向マイクロフォンがあります(2つの小さい穴)。最適な結果を得るため、スピーカフォンを使用するときは、デスクトップチャージャーを自分の正面に置いてください。</p>
<p>デスクトップチャージャーのスピーカフォンからハンドセットに切り替える</p>	<ol style="list-style-type: none"> 電話機の上部を持ち、手前に引いて、デスクトップチャージャーから取り上げます。 ハンドセットを使用してコールを続けます。デスクトップチャージャーのスピーカとマイクロフォンが切断されます。 <p> (注)  ボタンを使用してデスクトップのスピーカをオフにすることはできません。</p>
<p>コールの音量レベルを調節する</p>	<p>コール中に  を押して、ハンドセット、スピーカ、ヘッドセットまたはデスクトップチャージャーの音量を調整します。</p> <p> (注) 電話機がオフになった後、以降のコールのため、この新規音量レベルが維持されます。</p>

ヘッドセットの購入

電話機は、2.5 mm の 3-band/ 4 コネクタを持つヘッドセット ジャック タイプをサポートしています。ヘッドセットについては、P.21 の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用

大量の着信コールを受ける場合、または他人のコールを処理する場合は、自動応答を使用すると便利です。システム管理者は、スピーカ モードまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。

目的または状態	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コール中以外もヘッドセットを電話機に接続しておくこと、ヘッドセットモードがアクティブなまま維持されます。</p> <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、 が電話機のステータス行に表示されている場合に限り、コールが自動的に応答されます。それ以外の場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴り、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
デスクトップチャージャーのスピーカで自動応答を使用する	<p>デスクトップチャージャーの受け台にハンドセットを置いておくことによって、スピーカがアクティブになります。</p> <p>電話機がスピーカモードで自動応答を使用するように設定されていると、デスクトップチャージャーのスピーカを使用してコールが自動的に応答されます。</p> <p> (注) デスクトップチャージャーのスピーカをオフにすることはできません。デスクトップチャージャーのスピーカを無効にするには、電話機を受け台から取り外す必要があります。</p>

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

電話機の設定の変更

音の設定、音量レベル、表示オプション、およびキーパッド設定を調整して、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G を個人設定できます。[設定]メニューから[ネットワークプロファイル]を表示することもできます。

呼び出しのカスタマイズ

各回線の呼び出しタイプを選択することによって、電話機をカスタマイズできます。

目的	操作
回線の呼出音設定を表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  [設定]>[電話の設定]>[サウンド設定]を選択します。2. [呼出音]>[現在の設定]を選択します。3. [表示]を押して、現在の回線設定を確認します。
回線の呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  [設定]>[電話の設定]>[サウンド設定]を選択します。2. [呼出音]>[現在の設定]を選択します。3. [表示]を押して、現在の回線設定を確認します。4. 回線を選択します。 <p> (注) 回線を選択するには、項目の番号キー、● ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">5. リストの呼出音にスクロールして[再生]を押すと、呼出音のサンプルが再生されます。6. 選択した呼出音の横に ● および ● アイコンが表示されます。7. [オプション]>[保存]を選択して変更するか、または [オプション]>[キャンセル]を選択します。

目的	操作
呼出音を回線に割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [設定]]>[電話の設定]>[サウンド設定]を選択します。 2. [呼出音]>[使用可能な呼出音]を選択します。 3. リストの呼出音にスクロールして[再生]を押すと、呼出音のサンプルが再生されます。 4. [オプション]>[適用]を選択して、呼出音の回線を選択します。選択した回線の横にが表示されます。 5. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。
電話機が鳴る方法を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [設定]]>[サウンド設定]>[アラートパターン]を選択します。 2. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 呼出音のみ • バイブレータのみ • マナー • バイブレータ、呼出音 • バイブレータと呼出音 選択した項目の横にが表示されます。 3. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。

ヒント

- ユーザ オプション Web ページから無線 IP Phone の呼出音設定を変更することはできません。
- [設定]メニューに戻るには、変更を保存してから[戻る]を押すか、を押してメイン画面に戻ります。

音量設定のカスタマイズ

電話機の呼出音およびスピーカ音量を調整できます。

目的	操作
呼出音の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [呼出音] を選択します。 <p> (注) 呼出音を選択するには、項目の番号キー、 ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げ、サンプルの呼出音音量を聞きます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
スピーカの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [スピーカ] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
電話機の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [サウンド設定] > [音量] を選択します。2. [ハンドセット] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
ヘッドセットの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [ヘッドセット] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
デスクトップチャージャーのスピーカの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [サウンド設定] を選択します。2. [ドッキングスピーカ] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

目的	操作
デスクトップチャージャーの呼出音の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▼  ([設定])>[電話の設定]>[サウンド設定]を選択します。 2. [ドッキング呼出音]を選択します。 3. ▲を押して音量を上げるか、▼を押して音量を下げ、サンプルの呼出音音量を聞きます。 4. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。
呼出音を鳴らすデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▼  ([設定])>[電話の設定]>[サウンド設定]を選択します。 2. [呼出音出力]を選択します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセット • スピーカ(デフォルト設定) • ヘッドセットとスピーカ 選択した項目の横に  が表示されます。 4. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。

電話スクリーンのカスタマイズ

左ソフトキーをカスタマイズして(電話機がアイドル状態の場合)、電話スクリーンの表示の明るさや、電話スクリーン上の言語を変更できます。

目的	操作
電話帳を開くように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [ホームページのカスタマイズ] を選択します。2. [変更] を押します。3. [電話帳] を選択します。4. [保存] を押します。電話機がアイドル状態のとき、左ソフトキーは「電話帳」と表示されます。
メッセージにアクセスするように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [ホームページのカスタマイズ] を選択します。2. [変更] を押します。3. [メッセージ] を選択します。4. [保存] を押します。電話機がアイドル状態のとき、左ソフトキーは「メッセージ」と表示されます。
電話機の画面の明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  ([設定]) > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。2. [画面の明るさ] を選択します。 <p> (注) 画面の明るさを選択するには、項目の番号キー、 ボタン、または [変更] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">3. ▲ を押して明るさを上げるか、▼ を押して明るさを下げます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

目的	操作
画面が表示される時間を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([設定]) > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。 2. [画面のタイムアウト] を選択します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 10 秒 • 30 秒 (デフォルト設定) • 1 分 • 2 分 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) 画面の設定時間が過ぎると、画面は 10 秒間薄暗くってから、完全に暗くなります。</p>
サービスが及ぶ範囲を知らせる LED 表示を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([設定]) > [電話の設定] > [画面設定] を選択します。 2. [LED カバレッジインジケータ] を選択します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効 (デフォルト設定) • 無効 4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.101 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. 言語の設定を変更します。

キーボード設定の変更

キーボードを設定して、自動ロック、トーンの再生、コールへの応答を実行することができます。詳細については、次の項を参照してください。

- 任意のキーを使用して電話機に応答する (P.84)
- キーボードの自動ロック設定 (P.85)
- キーボードトーンの変更 (P.86)

任意のキーを使用して電話機に応答する

任意のキーを使用してコールに応答できるように電話機を設定することができます。

目的	操作
任意のキーを押してコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  ([設定])[電話の設定][キーボード設定]を選択します。2. [どのキーでも応答]を選択します。3. [有効]を選択します。4. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。 <p> (注) [どのキーでも応答]オプションの下に、[有効]と表示されます。</p>
[どのキーでも応答]オプションを無効にする	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  ([設定])[電話の設定][キーボード設定]を選択します。2. [どのキーでも応答]を選択します。3. [無効]を選択します。4. [保存]を押して変更するか、または[キャンセル]を選択します。 <p> (注) [どのキーでも応答]オプションの下に、[無効]と表示されます。</p>

キーパッドの自動ロック設定

誤ってキーを押したりコールをリダイヤルしたりするのを防止するには、キーパッド自動ロック機能を使用します。コールの完了後、どのくらいの時間が経過したら電話機がキーパッドを自動的にロックするかを設定できます。

目的	操作
電話機の使用後にキーパッドを自動的にロックする	<ol style="list-style-type: none"> ▼  ([設定]) [電話の設定] [キーパッド設定] を選択します。 [キーパッドの自動ロック] を選択します。 次の時間間隔のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 15 秒 30 秒 60 秒 [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) 選択した時間間隔が過ぎると、 アイコンが表示され、キーパッドがロックされます。</p>
キーパッドのロックを解除する	<ol style="list-style-type: none"> 任意のキーを押すと、画面に「キーパッドをロック解除しますか?」と表示されます。 [はい] を押してキーパッドをロック解除するか、[いいえ] を押してロックを維持します。
自動キーパッド ロックをオフにする	<ol style="list-style-type: none"> ▼  ([設定]) [電話の設定] [キーパッド設定] を選択します。 [キーパッドの自動ロック] を選択します。 [無効] を選択します。 [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。 <p> (注) [キーパッドの自動ロック] オプションの下に、[無効] と表示されます。</p>

ヒント

- 自動ロック機能は、電話機がアイドル状態で、メイン画面が表示されている場合にのみ有効になります。
- 着信コールを受けると、キーパッドのロックは一時的に使用できなくなります。

キーボード トーンの変更

キーボードのキーを押したときのトーンを有効または無効にできます。

目的	操作
キーボード トーン レベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  ([設定]) [電話の設定] [キーボード設定] を選択します。2. [キーボードトーン] を選択します。3. 次のいずれかを選択します。<ul style="list-style-type: none">• 無効：キーボード トーンは再生されません。• 通常：キーを押すとトーンが再生されます。• 大きく：キーを押すとトーンが大きく再生されます。選択した項目の横に  アイコンが表示されます。4. [保存] を押して変更するか、または [キャンセル] を選択します。

ネットワーク プロファイル リストの表示

ネットワーク プロファイルは、無線ネットワークへのアクセス、およびシステムにおける認証と暗号化についての事前定義された設定を提供します。システム管理者がネットワーク プロファイルを定義します。複数のネットワーク プロファイルを利用できるため、異なる SSID または認証タイプを使用する場所で無線ネットワーク設定にアクセス可能です。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G では、4 つまでのネットワーク プロファイルを有効にできます。電話機は、自動的にプロファイルをスキャンし、その特定の無線ネットワークに一致する SSID および設定を持つネットワーク プロファイルを選択します。



(注) 追加のネットワーク プロファイルが必要かどうか、またはプロファイルの設定を変更する必要があるかどうかについては、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作
有効なネットワーク プロファイルのリストを表示する	<p>▼  ([設定]) > [ネットワークプロファイル] を選択します。</p> <p>有効なネットワークの横に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。</p> <p> (注) ネットワーク プロファイルはロックされているので、システム管理者に変更してもらう必要があります。</p>

ヒント

-  ロック アイコンがメニューの横に表示されている場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- EAP または LEAP ユーザ名とパスワードを変更する必要がある場合は、P.19 の「[ユーザ名とパスワードの設定](#)」を参照して、システム管理者に問い合わせてください。

履歴およびディレクトリの使用

この項では、[ディレクトリ]メニューの履歴とディレクトリの使用方法について説明します。

履歴の使用

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が記録されています。

目的	操作
履歴を表示する	<ol style="list-style-type: none">1. ([ディレクトリ])を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。履歴にはそれぞれ最大 100 件のレコードを保存できます。
通話履歴ログからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. ([ディレクトリ])を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。3. 電話番号にスクロールします。 <p> (注) 表示された番号を編集する(プレフィクスの追加や削除など)には、[オプション]>[編集]を選択し、次に◀または▶を選択してカーソルの位置を変更します。キーパッドを使用して数字を入力するか、<< を押して番号を削除します。</p>
1つのコールレコードを表示する	<ol style="list-style-type: none">4. [ダイヤル]または  を押します。1. ([ディレクトリ])を押します。2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。3. コールレコードを強調表示します。4. [詳細]を押します。この操作により、着呼番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報(発信履歴と着信履歴の場合のみ)が表示されます。

目的	操作
1つのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ])を押します。 2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 3. コールのレコードにスクロールします。 4. [オプション]>[削除]を選択するか、[オプション]>[終了]を選択します。
1つの履歴からすべてのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ])を押します。 2. [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 3. [オプション]>[削除]を選択するか、[オプション]>[終了]を選択します。
すべての履歴からすべてのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ])を押して、履歴を表示します。 2. [クリア]を押します。それによってすべての履歴を消去するか、[オプション]>[終了]を選択します。
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	<p>ピジーランプフィールドのインジケータを確認します。P.67の「BLFの使用による回線状態の確認」を参照してください。</p>

ヒント

マルチパーティコール（転送されてきたコールなど）の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細]を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティコールごとに2つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順にリストされます。

- 最初に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティコールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2番目に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティコールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリダイヤリング

設定によっては、自分の電話機から、社内ディレクトリおよび個人ディレクトリ機能にアクセスできます。

- 社内ディレクトリ：電話機でアクセスできる企業内の連絡先です。社内ディレクトリは、システム管理者が設定し、保守します。
- 個人ディレクトリ：用意されている場合、個人が設定できる個人の連絡先とそれに対応する短縮ダイヤルコードです。電話機やユーザ オプション Web ページからアクセスできます。個人ディレクトリは、個人アドレス帳（PAB）とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルでは、PAB エントリにコードを割り当てて、すばやくダイヤルすることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されていない場合）	<ol style="list-style-type: none">1. （[ディレクトリ]）> [ディレクトリサービス] > [社内ディレクトリ]（名前は異なる場合があります）を選択します。2. キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力します。3.  または [オプション] > [送信] を押します。4. リストをスクロールします。 <p> （注） 表示された番号を編集する（プレフィックスの追加や削除など）には、[オプション] > [編集] を選択し、次に ◀ または ▶ を選択してカーソルの位置を変更します。キーパッドを使用して数字を入力するか、<< を押して番号を削除します。</p> <ol style="list-style-type: none">5. [ダイヤル] または  を押します。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。P.67 の「 BLFの使用による回線状態の確認 」を参照してください。

ヒント

- 電話スクリーンでの文字入力には、キーパッドの数字を使用します。P.20 の「テキストの入力と編集」を参照してください。
- 入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での個人ディレクトリの使用

個人ディレクトリ機能は、個人アドレス帳 (PAB) とファースト ダイアルで構成されます。

Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降

Cisco Unified CallManager 4.3 以降のシステムに接続している場合の個人ディレクトリの設定方法と使用方法については、『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降

この項では、Cisco Unified Communications Manager 5.1 以降に接続している場合の電話機の個人ディレクトリの設定方法と使用方法を説明します。代わりに、P.107 の「Web での個人ディレクトリの使用」を参照することもできます。

目的	操作
個人ディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイアルコード)	<ol style="list-style-type: none">  [ディレクトリ] > [ディレクトリ サービス] > [Personal Address Book (PAB) Service] (名前は異なる場合があります) を選択します。 Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力して、[オプション] > [送信] を押します。

目的	操作
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [個人アドレス帳] にアクセスします。 2. 検索条件を入力し、[オプション]>[送信] を選択します。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>(注) PAB エントリの完全なリストを入手するには、検索条件を入力せずに、[オプション]>[送信] を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [オプション]>[前へ]または[次へ] を選択してリスト内を移動できます。 4. 目的の PAB リストをスクロールして、[選択]または  を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択]または  を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. ダイヤルする番号にスクロールして、[OK] を押します。 5. OK をもう一度押して番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択]または  を押します。 3. [オプション]>[削除] を選択します。 4. [OK] を押して削除を確認するか、またはキャンセルします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択]または  を押します。 3. [オプション]>[編集] を押して、名前またはメール アドレスを修正します。 4. 必要に応じて、[オプション]>[電話] を選択して、電話番号を修正します。 5. [更新] を押します。

目的	操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [個人アドレス帳] にアクセスします。 2. [オプション] > [送信] を選択して、[検索] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [オプション] > [新規] を選択します。 4. キーパッドを使用して名前またはニックネームを入力します。 5. [電話] を押し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード (9 または 1 など) を必ず含めます。 6. [送信] を押し、データベースにエントリを追加します。
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストをスクロールし、[選択] または  を押します。 3. [オプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 4. 番号に割り当てるファースト ダイヤル コードにスクロールして、[選択] または  を押します。
新しいファースト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [ディレクトリ] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [個人ファーストダイヤル] を選択します。 3. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードにスクロールして、[選択] または  を押します。 4. [割り当て] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新] を押します。
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [ディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [オプション] > [前へ] または [次へ] を選択してリスト内を移動できます。 3. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル コードを検索します。 2. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. OK を選択して、操作を完了します。
ファースト ダイヤル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル コードを検索します。 2. 目的のリストをスクロールして、[選択] または  を押します。 3. [オプション] > [削除] を選択します。

目的	操作
個人ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="416 191 1220 259">1.   ([ディレクトリ]) > [個人アドレス帳] を選択します (名前は異なる場合があります)。 <li data-bbox="416 276 779 308">2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザが個人ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID と PIN を提供できます。
- 一定の時間が経過すると、個人ディレクトリから自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話スクリーンでの文字入力には、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での電話帳の使用

最大 100 件の連絡先の情報（勤務先電話番号、携帯番号、会社名など）を、電話機の電話帳に保存できます。



(注) 電話帳を開くように左ソフトキーをカスタマイズすることができます。カスタマイズすると、左ソフトキーは**電話帳**と表示されます。詳細については、P.82 の「[電話スクリーンのカスタマイズ](#)」を参照してください。

目的	操作
電話帳に連絡先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [新規] を押します (電話帳が空の場合)。 - [オプション] > [新規] を選択します (電話帳が空でない場合)。 3. [新規連絡先] 画面で、連絡先情報を入力します。 4. 入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
連絡先のプライマリ番号を割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、[オプション] > [詳細] を選択します。 3. 勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または 他の電話のいずれかの番号を選択し、[オプション] > [プライマリ] を選択します。 <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) が番号の横に表示されます。</p> <p> (注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先番号です。プライマリ番号には、任意の番号を割り当てることができます。</p>

目的	操作
連絡先の名前または会社名の情報を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([デイレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション] > [詳細] を選択することもできます。 3. 情報フィールドを選択し、[変更] を押します。 4. 変更内容を入力します。入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
連絡先の電話番号を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([デイレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション] > [詳細] を選択することもできます。 3.  勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話のいずれかの番号を選択し、[オプション] > [変更] を選択します。 4. 変更内容を入力します。入力が終わったら [オプション] を押し、[保存] を選択して入力した情報を保存するか、[キャンセル] を押します。
電話帳の連絡先を検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([デイレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. [オプション] > [モード] を選択し、検索するテキストを入力します。名、姓、ニックネーム、および会社名を検索できます。  (注) 検索テキストを入力するには、目的の文字または数字が表示されるまでキーを1回または複数回押す方法と、1つまたは複数のキーを押した後、一致する可能性のある候補を自動的に表示させる方法(予測テキスト)のいずれかを使用できます。 <p>検索するテキストの入力方法を変更するには、もう一度 [オプション] > [モード] を選択します。</p>

目的	操作
電話帳から連絡先を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、[オプション] > [削除] を選択します。連絡先が削除され、この連絡先の短縮ダイヤルは未定義になります。
連絡先のプライマリ番号にダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示します。この連絡先のプライマリ番号が左下に表示されます。この番号にダイヤルするには、 を押すか、[オプション] > [ダイヤル] を押します。 <p> (注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は、勤務先番号です。この連絡先のプライマリ番号を、任意の番号に変更できます。</p>
連絡先の任意の電話番号にダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. 連絡先名を強調表示し、次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - ダイヤルする電話番号( 勤務先電話、 自宅電話、 携帯電話、または  他の電話) のアイコンが表示されるまで、左または右にスクロールします。 - [オプション] > [詳細] を選択し、電話番号を強調表示し、 または [オプション] > [ダイヤル] を押します。
電話帳からすべてのエントリーをクリアする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [電話帳] を選択するか、[電話帳] (使用可能な場合) を押します。 2. [オプション] を押し、[すべて削除] を選択します。
履歴またはディレクトリから新しい電話帳の連絡先に電話番号をコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. 電話番号にスクロールし、[オプション] > [保存] > [新規連絡先] を選択します。[連絡先の保存] 画面が表示されます。 3. 名、姓、ニックネーム、会社名の情報を入力します。 4. 入力が終わったら、[オプション] > [保存] を選択し、番号を保存する電話のタイプを選択します。

目的	操作
履歴またはディレクトリから既存の電話帳の連絡先に電話番号をコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. 電話番号にスクロールし、[オプション] > [保存] > [既存連絡先の使用] を選択します。 3. 電話帳の連絡先リストで、名前を強調表示します。 4. 番号を保存する電話のタイプを選択します。
電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てる ([短縮ダイヤル] 画面から)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [短縮ダイヤル] を選択します。 2. 未定義の短縮ダイヤルを強調表示し、[割り当て] を押します。電話帳の連絡先リストが表示されます。 3. 名前を強調表示します。プライマリ番号を選択するか、左または右にスクロールして別の番号を選択し、[選択] を押します。選択した番号が短縮ダイヤルに割り当てられます。 <p> (注) 短縮ダイヤル 1 は、常にボイスメールに割り当てられません。この短縮ダイヤルは、削除したり再割り当てしたりすることはできません。</p> <p> (注) 短縮ダイヤル コールを発信する場合は、P.39 の「コールの発信：追加のオプション」を参照してください。</p>
電話帳の連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てる (メイン電話スクリーンから)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未定義の短縮ダイヤル番号を約 2 秒間押し続けてから、[Yes] を押します。電話帳のメイン画面が表示されます。 2. 連絡先を強調表示し、[選択] を押して短縮ダイヤルをプライマリ番号に割り当てます。
短縮ダイヤルを割り当て解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  ([ディレクトリ]) > [短縮ダイヤル] を選択します。 2. 割り当てられている短縮ダイヤルを強調表示し、[削除] を押します。 3. [Yes] を押して確認するか、[No] を押してキャンセルします。

ヒント

連絡先番号に短縮ダイヤルを割り当てると、短縮ダイヤル アイコン  と番号が、連絡先詳細の電話番号の下に表示されます。

ボイス メッセージへのアクセス

電話機に「ボイスメールを受信しました」と表示されているときや赤色のライトが点滅しているときは、電話機からメッセージにアクセスできます。



(注)

お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	<ol style="list-style-type: none"> [メッセージ] を押すか、 を押し続けます。 音声ガイダンスに従います。 <p> (注) メイン電話スクリーンの左ソフトキーを [電話帳] に変更すると、[メッセージ] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、P.82 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。</p>
新しいボイス メッセージの着信を調べる	<p>電話機で次のインジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点滅する赤色のライト 「ボイスメールを受信しました」というテキストメッセージ  [回線表示] で電話番号の横に表示される点滅するメッセージ受信アイコン 
ボイスメッセージを聞く、またはボイス メッセージ システム メニューにアクセスする	<ol style="list-style-type: none"> [メッセージ] を押すか、 を押し続けます。 ボイス メッセージのパスワードを入力します。 音声の指示に従ってメッセージを聞きます。 <p> (注) メイン電話スクリーンの左ソフトキーを [電話帳] に変更すると、[メッセージ] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、P.82 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。</p>

目的	操作
ボイス メッセージ システム にコールを送信する	[即転送] を押します。 コール（呼び出し中や保留中のものも含む）がボイス メッセージ システムに自動転送されます。発信者はボイス メッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、無線 IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。この項では、次の情報を記載します。

- [Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ \(P.102 \)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ \(P.104 \)](#)

Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ

この項では、Cisco Unified CallManager 4.3 以降のシステムに接続している場合にユーザ オプション Web ページにアクセスする方法と IP Phone サービスに登録する方法を説明します。設定可能な機能と、登録可能な IP Phone サービスの詳細については、『Web での Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.htm

詳細については、次の項を参照してください。

- [ユーザ オプション Web ページへのログイン \(P.102 \)](#)
- [IP Phone サービスへの登録 \(P.103 \)](#)

ユーザ オプション Web ページへのログイン

この項では、Cisco Unified CallManager Release 4.1 以降のユーザ オプション Web ページでログインする方法と電話機デバイスを選択する方法を説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション の URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 Cisco Unified CallManager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none">1. 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ (電話機のモデル) を選択します。コンテキストメニューが無線 IP Phone に適切なオプションとともに表示されません。2. 無線 IP Phone のオプションに変更を加えます。

ユーザ オプション Web ページのナビゲートに関するヒント

- 該当するオプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[更新] をクリックします。
- コンテキストメニューに戻るには、[メニューに戻る] をクリックします。
- ユーザ ページを終了するには、[ログオフ] をクリックします。

IP Phone サービスへの登録

電話機から登録 IP Phone サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、IP Phone サービスに登録する必要があります。P.104 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

IP Phone サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（個人ファーストダイヤル サービス、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。 2. [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。 3. 指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力します。 4. [登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。 2. [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。 3. 登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ◀  [サービス] > (サービス名) を選択します。 2. 必要なサービスを選択します。
IP Phone サービスの使用方法を確認する	<p>『Web での Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。</p> <p>http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html</p>

Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降 のユーザ オプション Web ページ

この項では、Cisco Unified Communications Manager 5.1 以降のシステムに接続している場合にユーザ オプション Web ページにアクセスする方法と IP Phone サービスに登録する方法を説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス、機能の設定、IP Phone サービスへの登録の詳細については、次の項を参照してください。

- [ユーザ オプション Web ページへのアクセス \(P.104\)](#)
- [Web での機能およびサービスの設定 \(P.105\)](#)

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページでログインする方法と電話機デバイスを選択する方法を説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション の URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。3. セキュリティ設定を受け入れるプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページから [ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイヤルにアクセスできます。 電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。2. 複数のデバイスが割り当てられている場合は、該当するデバイス (電話機のモデルまたはエクステンション モビリティ プロファイル) が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前] ドロップダウン メニューから別のデバイスを選択します。

目的	操作
ユーザ機能を設定する	<p>[ユーザオプション] ドロップダウン ボタンを選択して、次の機能にアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ設定 • ディレクトリ • 個人アドレス帳 • ファーストダイヤル
電話設定を設定する	<p>ツールバー ボタンを選択して、次の電話機特有のオプションにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回線設定 • 短縮ダイヤル • IP Phone サービス • サービス URL
[デバイス設定] ページに戻る	任意のページから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択し、正しいデバイスを設定していることを確認するか、またはデバイスを変更します。

ヒント

[デバイス設定] ページから、電話機で使用可能な設定オプションすべてにアクセスできます（他のページでは、すべてのオプションにアクセスできない場合があります）。

Web での機能およびサービスの設定

ログイン後、ユーザ オプション Web ページで機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.104 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

- [Web での短縮ダイヤルの設定](#) (P.106)
- [Web での個人ディレクトリの使用](#) (P.107)
- [Web での IP Phone サービスの設定](#) (P.109)
- [Web でのユーザ設定の制御](#) (P.111)
- [Web での回線設定の制御](#) (P.112)
- [Cisco WebDialer の使用](#) (P.114)

Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機はいくつかの短縮ダイヤル機能をサポートできます。これらの短縮ダイヤル機能は、Web から設定します。

- 回線表示短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.58 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

目的	ログイン後の操作
回線表示の短縮ダイヤル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。2. [短縮ダイヤル] をクリックします。3. ダイヤルする場合と同じように、電話番号を入力します。4. 短縮ダイヤル番号のラベルを 11 字以下で入力します。5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 回線表示で短縮ダイヤルを設定してある場合は、短縮ダイヤルラベルが  アイコンの横に表示されます。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none">1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。2. [短縮ダイヤル] をクリックします。3. ダイヤルする場合と同じように、電話番号を入力し、固定短縮ダイヤルコードのラベルを入力します。4. [保存] をクリックします。 <p> (注) 固定短縮ダイヤルコードの番号をメモしておきます。このコードを [オプション] > [短縮] で使用して、短縮ダイヤル番号にアクセスします。</p>
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.108 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>電話機からファーストダイヤルを設定することもできます。P.91 の「電話機での個人ディレクトリの使用」を参照してください。</p>

ヒント

- 最大 6 個の番号（回線と短縮ダイヤル番号の組み合わせ）を回線表示スクリーンに表示できます。
- 短縮ダイヤル ラベルが 11 字より多い場合、ラベルを短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。

Web での個人ディレクトリの使用

コンピュータからアクセスできる個人ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- 個人アドレス帳（PAB）
- ファースト ダイヤル
- アドレス帳同期化ツール（TABSynch）



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からアクセスすることもできます。P.91 の「[電話機での個人ディレクトリの使用](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. エントリの情報を入力します。 4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。 <p> (注) すべてのエントリを検出するには、検索情報をブランクにして、[検索] をクリックします。</p>
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. 必要に応じてエントリを編集して、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファースト ダイアルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファースト ダイアルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後の操作
ファースト ダイアル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.107 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 3. [新規追加] をクリックします。 4. 必要に応じて、ファースト ダイアル コードを変更します。 5. [検索オプション] 域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。 6. [検索結果] 域の電話番号をクリックします。 7. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル コードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 必要に応じて、ファースト ダイアル コードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
ファースト ダイアル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 編集するファースト ダイアル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
ファースト ダイアル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアルを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファースト ダイアルおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファースト ダイアル エントリを作成できます。新規のファースト ダイアル エントリは、ユーザ オプション Web ページで「raw」とラベル表示され、設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期化ツールの使用方法

アドレス帳同期化ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳 (適用可能な場合) を PAB と同期化することができます。同期化後、Microsoft Windows アドレス帳に含まれるエントリは、無線 IP Phone およびユーザ オプション Web ページでアクセスできるようになります。TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳細な情報については、システム管理者に確認してください。

Web での IP Phone サービスの設定

IP Phone サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報 (株式相場や映画情報など) が含まれます。IP Phone サービスにアクセスする前に、まず IP Phone サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [新規追加] をクリックします。 4. ドロップダウン リストからサービスを選択して、[次へ] をクリックします。 5. 可能な場合は、サービス ラベルを変更したり、追加のサービス情報を入力したりします。(オプション) <p> (注) ラベルが 11 字より多い場合、名前を短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更して、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
使用可能なスクリーン スロットにサービスを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。  (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。 3. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  (注) 2バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	<p>◀  [サービス] > (サービス名) を選択します。</p>

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語 (ロケール) の設定が含まれます。PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。

目的	ログイン後の操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード] 域に情報を入力します。  (注) パスワードは、5 ~ 127 字で指定してください。 3. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後の操作
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="416 191 1059 220">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 <li data-bbox="416 237 889 266">2. [電話の PIN] 域に情報を入力します。 <div data-bbox="456 282 517 321" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="456 321 1005 360" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="456 321 1005 360">(注) PIN は、5 ~ 20 字で指定してください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="416 399 768 428">3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="416 441 1059 470">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 <li data-bbox="416 487 1217 545">2. [ユーザロケール] 域の [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 <li data-bbox="416 561 768 591">3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="416 604 1217 662">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択して、[デバイス設定] ページに移動します。 <li data-bbox="416 678 1204 708">2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 <li data-bbox="416 724 768 753">3. [保存] をクリックします。

ヒント

- PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたは個人ディレクトリにログインするために使用します。
- パスワードを使用して、コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインします。
- これらのサービスの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線の設定には、コール転送や回線ラベルなどが含まれます。

- 
- (注)**

 - (プライマリ電話回線の) コール転送を、電話機で直接設定できます。P.50 の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機の設定については、P.78 の「電話機の設定の変更」を参照してください。

目的	ログイン後の操作
回線ごとにコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G デバイスの名前を選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [着信コールの転送] 域で、各種条件のコール転送設定を選択します。 5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージ インジケータ設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [メッセージ受信ランプ] 域で、各種設定から選択します。  <p data-bbox="494 760 1275 857">(注) 通常は、デフォルトのメッセージ受信設定によって、電話機で新規ボイスメッセージを知らせるライトおよびメッセージが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。
電話スクリーンに表示する回線テキスト ラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、対象の回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [回線のテキスト ラベル] 域に、テキスト ラベルを入力します。  <p data-bbox="494 1198 1275 1295">(注) ラベルが 11 字より多い場合、名前を短くしてください。ラベルは左側から省略されます。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。

ヒント

ユーザ オプション Web ページから Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G の呼出音設定を変更することはできません。

Cisco WebDialer の使用

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザ内の項目をクリックして、無線 IP Phone からディレクトリの連絡先にコールを発信できます。この機能は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.104 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択して、同僚を検索します。3. ダイヤルする番号をクリックします。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします(詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイヤル]をクリックします(今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 これで電話機からコールが発信されます。6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話を置きます。
別のオンライン社内ディレクトリ(自分のユーザ オプション ディレクトリではない)で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインして、同僚を検索します。2. ダイヤルする番号をクリックします。3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします(詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。5. コールの開始ページが表示される場合は、[ダイヤル]をクリックします(今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の項目を参照してください)。 これで電話機からコールが発信されます。6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話を置きます。
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページで、ログアウト アイコンをクリックします。

目的	操作
<p>WebDialer を初期設定、表示、または変更する</p>	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されず (ダイヤルする番号をクリックした後)。</p> <p>[初期設定] に戻る場合は、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • 常設の電話を使う：WebDialer コールの発信に使用する無線 IP Phone および電話番号 (回線) を指定します。1 本の回線に 1 台の電話機がある場合、該当する電話機および回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機および回線 (またはそのいずれか) を選択します。電話機はホスト名で指定します。 電話機でホスト名を表示するには、▼  [設定] > [ネットワーク プロファイル] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します。 • エクステンションモビリティを使用する：選択した場合、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) と関連付けられた無線 IP Phone を使用するように WebDialer にプロンプトが表示されます。 • コールの確認ダイアログを表示しない：選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないようにプロンプト表示されず。このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に、デフォルトで表示されます。

モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合は、デスクの電話機と同じ電話番号を使用して発信や着信ができるように、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機は、*リモート接続先*と呼ばれます。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するためのアクセス リストを定義することもできます。

目的	ログイン後の操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[モビリティの設定]>[アクセスリスト]を選択します。2. [新規追加]をクリックします。3. 次の情報を入力します。<ul style="list-style-type: none">- [名前]: アクセス リストを識別します。- [説明]: アクセス リストの説明です。4. 次のいずれかのオプションを選択します。<ul style="list-style-type: none">- [拒否アクセスリスト]: ブロックする番号のリストを作成します。- [許可アクセスリスト]: 許可する番号のリストを作成します。5. [保存]をクリックします。
アクセス リストにメンバを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. アクセス リストを作成します。2. [メンバの追加]をクリックして電話番号またはフィルタをリストに追加します。3. [フィルタマスク]ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。4. [フィルタマスク]ドロップダウン リストから電話番号を選択する場合、[DN マスク]フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。<ul style="list-style-type: none">- X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。- !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。- #: 完全一致する数字 1 字として使用します。5. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[保存]をクリックします。6. アクセス リストを保存するには、[保存]をクリックします。

目的	ログイン後の操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン リストボックスからデバイスを選択します。 3. [リモート接続先] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話（または他の電話）の名前を入力します。 - [着信先番号]: ユーザの携帯電話の番号を入力します。 - [最短応答タイマー]: リモート接続先でコールに応答できるまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [最長応答タイマー]: これ以上経過するとリモート接続先でコールに応答できなくなる時間を入力します（ミリ秒）。 - [呼び出し前の遅延タイマー]: リモート接続先でコールの呼出音が鳴るまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [リモート接続先プロファイル]: リモート接続先のプロファイルを選択します。このプロファイルには、すべてのリモート接続先に適用される設定値が含まれます。 - [許可アクセスリスト]: ユーザのデスクの無線 IP Phone に着信したときに携帯電話を呼び出すことができる電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストと拒否アクセス リストのいずれかを選択できますが、両方は選択できません。 - [拒否アクセスリスト]: ユーザの無線 IP Phone に着信したときに携帯電話を呼び出さないようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストと拒否アクセス リストのいずれかを選択できますが、両方は選択できません。 - [携帯電話]: 携帯電話で無線 IP Phone 電話から発信されたコールを受け入れる場合に選択します。 - [モバイルコネクットの有効化]: 無線 IP Phone と同時に携帯電話の呼出音を鳴らす場合に選択します。 - [スマートクライアントインストール済み]: 設定しているリモート接続先がスマートフォンの場合に選択します。 6. [保存] をクリックします。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するとき役に立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドとその他のマニュアルについては、次の URL から入手できます。http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話機が呼び出し中または使用中のときに別のソフトキー（[即転送]など）を表示する必要がある	新しいソフトキーテンプレートを設定してユーザの電話機に割り当てるようシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル番号が足りない	現在使用可能な短縮ダイヤル番号をすべて使用していることを確認してください。 追加の短縮ダイヤルボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファーストダイヤルサービスへの登録を検討してください。	P.101の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください。
1つの電話番号を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの番号をデスクの電話機と無線 IP Phone で使用することができます。	P.64の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示またはそれに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の電話機に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不審なコールのトレース (P.69) • 共有回線の使用 (P.64) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.71)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.77 の「自動応答の使用」 を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を設定するように管理者に依頼します。	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」 を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.71 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」 を参照してください。
同じ共有回線を持つすべての電話機で、共有回線でのコール情報の表示やコールの参加を許可または禁止する	電話機のプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.66 の「他者による共有回線のコールの表示および参加の防止」 を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921G のトラブルシューティングに関する情報を記載します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機に関する一般的な問題の解決に役立つ情報について説明します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
コールを完了できない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none">電話機が無線ネットワーク アクセス ポイントのサービス エリア外にあります。 <p> (注) 電話機を持って歩いているとき、電話機が無線サービスの範囲内にあることは、点滅する緑色のライトで示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力してから番号をダイヤルする必要があります。電話機に時間制限が設定されていて、一日の特定の時間帯に一部の機能が使用できなくなっています。

症状	説明
メインの電話スクリーンがアクティブにならない	<p>次のメッセージのいずれかがステータス行に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク ビジー：無線ネットワーク内に、このコールを完了するために必要な使用可能な帯域幅が十分にありません。あとで再試行してください。 サービス圏外に接近中：電話機は、関連するアクセス ポイントと無線ネットワークの範囲外にあります。 ネットワークサービスの検索中：電話機が無線ネットワーク アクセス ポイントを検索しています。 認証に失敗しました：認証サーバがセキュリティ クレデンシャルを受け入れませんでした。 IP を設定中：電話機は、DHCP が IP アドレスを割り当てるのを待っています。
設定メニューが反応しない	システム管理者が、電話機の設定機能を無効にした可能性があります。
【参加】に失敗する	<p>【参加】を実行するには、複数のコールを選択する必要があります。アクティブ コールは自動的に選択されるので、それ以外に、少なくとも1つのコールが選択されていることを確認してください。また【参加】を実行するには、選択されたコールがすべて同じ回線上にある必要があります。必要に応じて、【参加】を実行する前にコールを1本の回線上に転送してください。</p>
使用するソフトキーが表示されない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【オプション】を押して、その他のソフトキーへスクロールして表示する必要があります。 回線状態を変更する必要があります（たとえば、電話をかけるか、コールを接続するなど）。 そのソフトキーに対応する機能をサポートするように電話機が設定されていません。
【割り込み】に失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。 別の Cisco Unified Wireless IP Phone のコールには割り込みできません。

症状	説明
[割込み] を使用して参加したコールが切断される	コールが保留状態になるか、転送されるか、または電話会議に切り替えられた場合、[割込み] を使用して参加しているコールから、ユーザは切断されます。
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送機能を有効にしている可能性があります。

電話管理データの表示

システム管理者からの依頼で、トラブルシューティングのために、電話機の管理データにアクセスする必要があります。

目的	操作
ネットワークまたは無線ネットワーク設定データにアクセスする	▼  [設定] > [デバイス情報] > [ネットワーク] または [WLAN] を選択し、表示する構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	▼  [設定] > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話のコールと音声品質情報にアクセスする	▼  [設定] > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[オプション] > [品質] を押すと、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声の問題をすぐにレポートする
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択し、理由コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco Documentation CD および Cisco.com にあります。次の手順を実行して、CD から、あるいは Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先：	
購入先担当者の電話番号：	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号：	
メンテナンス契約番号：	

Index

C

Cisco Unified Wireless IP Phone

- アクセサリ 21
- 安全と性能 3
- 医療環境 6
- 規制国 6
- クリーニング 36
- 接続 12
- 電源 6
- 電源をオン 18
- 登録 20
- トラブルシューティング 120
 - ～の Web ベースのサービス 101
 - ～のオンライン ヘルプ 32
 - ～の機能の設定 36, 118
 - ～の説明 24
- ボタンとキー 25

Cisco WebDialer 114

C 割込

- 使用方法 65
- 「割り込み」も参照

I

IP Phone サービス

- 設定 105

L

- LED 点滅率 26

M

- Malicious Call Identification (MCID) 69
- MLPP、使用 69
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 69

P

PAB

- Web ページからの使用 107
 - ～からダイヤル 40
- PIN、変更 112
- push to talk
 - 使用方法 74
 - ～へのアクセス 74
 - ボタン 74

Q

- Quality Reporting Tool (QRT)、使用 122

S		サービス中	18
software license		点減している緑	18
		点減率	26
OpenSSL Project	9	インターコム回線	56

T			
TABSynch	109		
TAPS、使用	20		
Tool for Auto-Registered Phones Support	20		

W			
WebDialer	114		

あ			
アイコン	56		
回線状態	34		
コール状態	34		
信号の強度	18		
~の説明	29		
アイコン、コールの状態を示す	34		
アクセシビリティ	8		
アドホック会議、「会議コール」を参照			
アプリケーション ボタン	28		
暗号化されたコール	68		
安全と性能	3		

い			
医療環境	6		
インジケータ ライト			
色	26		

え			
エクステンション モビリティ			
使用方法	41		
ログアウト	71		
ログイン	71		

お			
応答 / 発信ボタン	28		
折返し	40		
音声品質データ、~へのアクセス	122		
オンライン ヘルプ、使用	32		
音量			
維持	76		
コール中に調整	76		
調節	78, 80		
音量ボタン			
使用方法	33		
説明	28		

か			
会議コール			
アドホック	52		
標準	52, 53		
ミーティング	52, 55		
回線			
およびコール転送	112		

- 回線表示アイコン 34
- コール状態アイコン 34
 - ~の説明 34
 - ~のテキストラベル 112
- 表示 34
 - ~へのアクセス 34
 - ボイスメッセージインジケータ設定 112
- 回線設定、Communications Manager の Web ページでの制御 112
- 回線表示短縮ダイヤル 59
- 課金コード、~を使用してダイヤル 41

- き
- キーパッドロック
 - キーパッドのロック 33
 - キーパッドのロック解除 33, 85
 - 自動キーロック機能 85
 - 自動キーロックの設定 85
- キーパッドのショートカット 33
- キーロック 33
- 規制国 6
- 機能
 - アクセシビリティ 8
 - ~のアベイラビリティ 36
 - ~の追加 118
- 機能ボタン、使用 31
- 機能メニュー 31
- 共有回線
 - ~の説明 64
 - プライバシーの使用 66
 - リモートで使用中のメッセージ 64
 - 割り込みの使用 65
- 切り替え、コールの 46

- け
- 警告 3

- こ
- コール
 - 応答 42
 - 回線との違い 34
 - サイレントの使用 51
 - 終了 44
 - セキュアな 68
 - 選択 34
 - 転送 48, 50, 112
 - ~のアイコン 34
 - ~の会議機能 52
 - ~の複数の通話相手 52
 - パーク 62
 - 発信 37, 39
 - ピックアップ 61
 - 複数の処理 46
 - ブロック 51
 - 保存と取得 62
 - 保留と復帰 44
 - ミュート 46
 - 優先順位付け 69
 - 呼び出し中のリダイレクト 42
- コール ウェイティング 42
- コール パーク 62
- コール ピックアップ 61
- コール処理、応用的な 58
- コール処理、基本的な 37
- コール転送 50

Communications Manager Web ページでの設定
112

コールへの応答 42
個人アドレス帳、「PAB」を参照
固定短縮ダイヤル 106

さ

サービス、～への登録 109
DND 51
サイレント 51

し

自動応答、使用 77
自動キーロック 85
社内ディレクトリ
Communications Manager Web ページからの使用
114
使用方法 90
終了、コールの、～のオプション 44
信号の強度 18

す

ステータス データ、～へのアクセス 122
ステータス行、表示 30
スピーカ アイコン 75
スピーカ ボタン 26
スピーカフォン
モード、使用 75

せ

セキュアなコール 68
セキュリティ
セキュアなコールの送受信 68
～のレベル 68
ノンセキュア コールの確認 68
切断、～のオプション 44
選択、コールの 34
選択ボタン
使用方法 32
説明 27

そ

ソフトキー ボタン
使用方法 30
～のラベル 30

た

ダイヤル、～のオプション 37, 39
短縮ダイヤル
Web からの設定 106
オプション 58
回線表示 59
回線表示ラベル 106
電話帳の連絡先への割り当て 98
ファースト ダイヤルの使用 60
ホットキー 58
ホットキーを使用したコールの発信 39
短縮ダイヤル ホットキー 58
短縮ダイヤル ホットキーの使用 39

- ち
 - 着信履歴、~のレコード 88
- て
 - 停電 6
 - ディレクトリ
 - Communications Manager Web ページからの使用 114
 - オプションの説明 90
 - 社内、使用 90, 91
 - テキスト
 - 特殊文字 20, 27, 28
 - 入力 20
 - 編集 20
 - テキストの入力 20
 - テキストの編集 20
 - デスクトップチャージャー
 - ~から電話機を取り外す 76
 - ケーブルロック 22
 - 使用方法 76
 - 接続済みアイコン 76
 - デスクトップチャージャーのケーブルロック 22
 - 電源 6
 - 電源 / 終了ボタン 27
 - 電源をオン 18
 - 転送、コールの、~のオプション 50
 - 転送、~のオプション 48
 - 電話回線
 - ~の説明 34
 - 表示 29
 - 電話機
 - スピーカモード 75
 - ハンドセットモード 75
 - ロックセット 22
 - 電話機のアクセサリ 21
 - 電話機のボタン
 - 説明 25
 - 電話機をロック 22
 - 電話スクリーン
 - LED 表示の変更 82
 - アイコン 29
 - アクティブコール 34
 - ディスプレイの明るさの変更 82
 - 画面のタイムアウトの変更 82
 - 機能の説明 29
 - クリーニング 36
 - 言語の変更 82
 - ~の機能 29
 - メニュー 31
 - 電話ステータス行アイコン 29
 - 電話帳、使用 95
 - 電話番号、表示 29
 - 電話履歴
 - 表示とダイヤル 88
 - メニュー オプション 88
- と
 - 登録、IP Phone サービスへの 109
 - 特殊文字、アクセス 20, 27, 28
 - トラブルシューティング、~用のデータ 120
 - 取り付け、Cisco Unified Wireless IP Phone 12
- な
 - ナビゲーション ボタン 27, 31

ほ

ボイス メッセージ	
インジケータ	99
ショートカット	33
~へのアクセス	99

ボイス メッセージ インジケータ	
設定の変更	112

保障

規定の説明	123
ハードウェア	123

ボタン

アプリケーション	28
応答 / 発信	28
音量	28
ショートカット	33
スピーカ	26, 75
選択	27
電源 / 終了	27
ナビゲーション	27, 31
左ソフトキー	28
右ソフトキー	26
ミュート	28

保留

使用方法	44
~とコールの切り替え	46
~と転送	48

み

ミーティング	52, 55
ミュート、使用	46
ミュート ボタン	28

む

無線ネットワーク データ、~へのアクセス	122
----------------------	-----

め

メニュー

項目へのアクセス	31
メイン メニューへのアクセス	31

メニュー、使用	31
---------	----

ゆ

ユーザ オプション Web ページ

Cisco Unified CallManager

IP Phone サービスへの登録	103
アクセスと使用	102

Cisco Unified Communications Manager

アクセスと使用	104
~での IP Phone サービスへの登録	109

Communications Manager

アドレス帳ツール	109
デバイス設定ページ	104

PIN、変更

PIN、変更	111
--------	-----

回線表示短縮ダイヤル、設定

回線表示短縮ダイヤル、設定	106
---------------	-----

機能およびサービスの設定

機能およびサービスの設定	105
言語 (ロケール) の設定	111
個人ディレクトリ、Web ページからの使用	107
パスワード、変更	111
ファースト ダイヤル、Web ページからの設定	108

優先順位付け、コールの	69
-------------	----

よ	~と共有回線	64
	~とプライバシー	66
呼出音		
音量	78, 80	
呼出音パターン		
音量ボタンで変更	33	
設定の変更	79	
呼び出しトーン		
回線ごとに選択	78, 80	
変更	78, 80	

り

リダイヤル	37	
リモートで使用中、共有回線の	64	
履歴		
削除	88	
表示とダイヤル	88	

れ

連絡先		
短縮ダイヤルの割り当て	98	
電話帳の	95	
~の検索	96	

ろ

ログアウト、ハントグループから	63	
-----------------	----	--

わ

割り込み		
使用方法	65	

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco logo, and Welcome to the Human Network are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0711R)

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00